



奈良県の住生活における現状

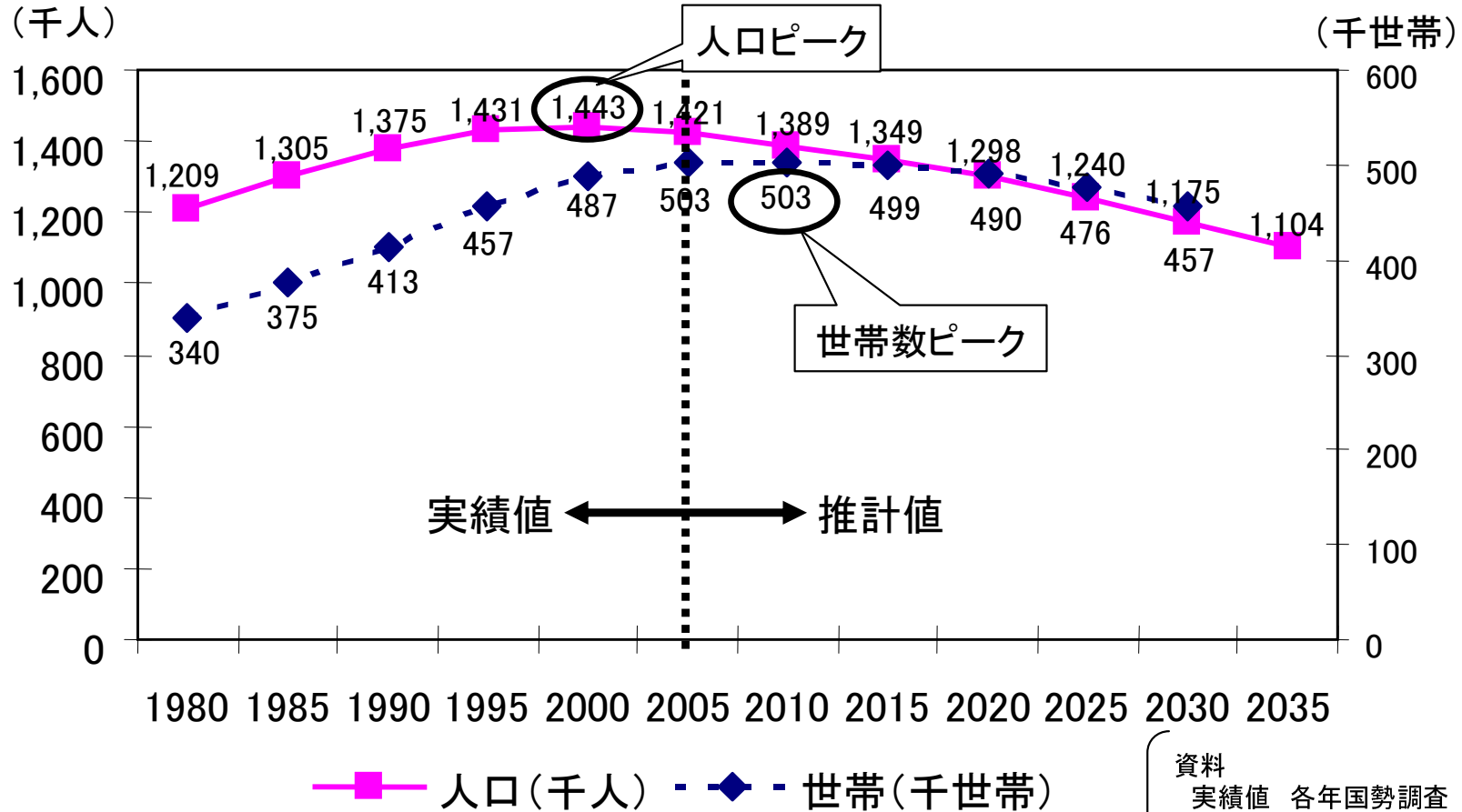
奈良県土木部まちづくり推進局住宅課
平成22年7月29日



(1) 社会事情の変化



【人口・世帯数の推移及び将来推計(奈良県)】

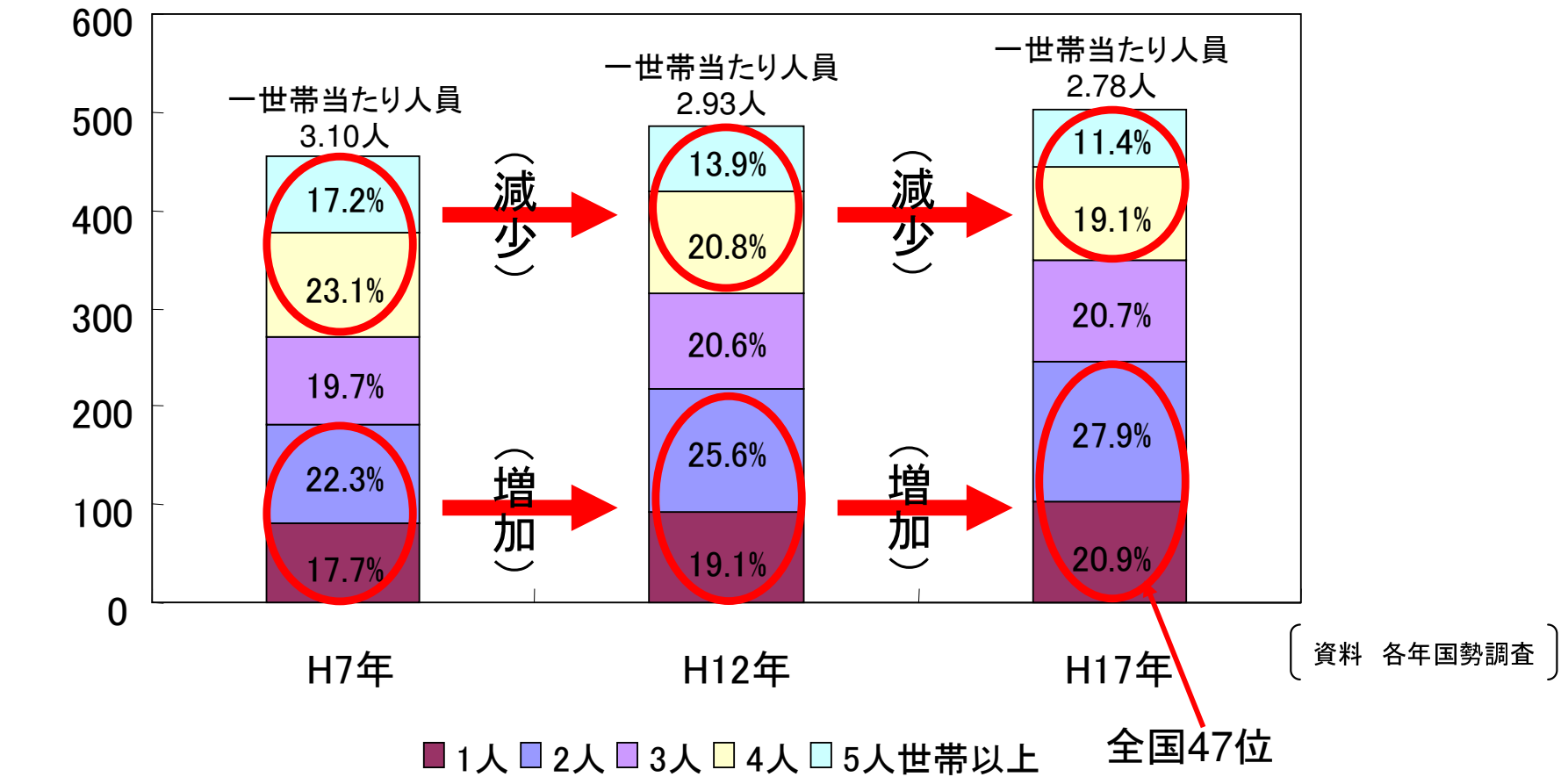


資料
 実績値 各年国勢調査
 推計値 国立社会保障・人口問題研究所

奈良県の人口は2000年をピークに減少している
 世帯数は2010年をピークに減少に転じる見込み
 人口減少率(H22-H32)は全国14位
 (1位:秋田県、2位:和歌山県、3位:青森県)



【世帯人数構成 年次推移(奈良県)】

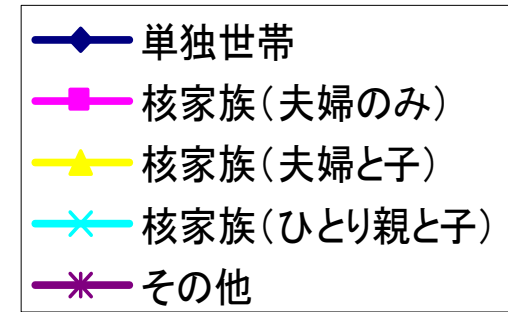
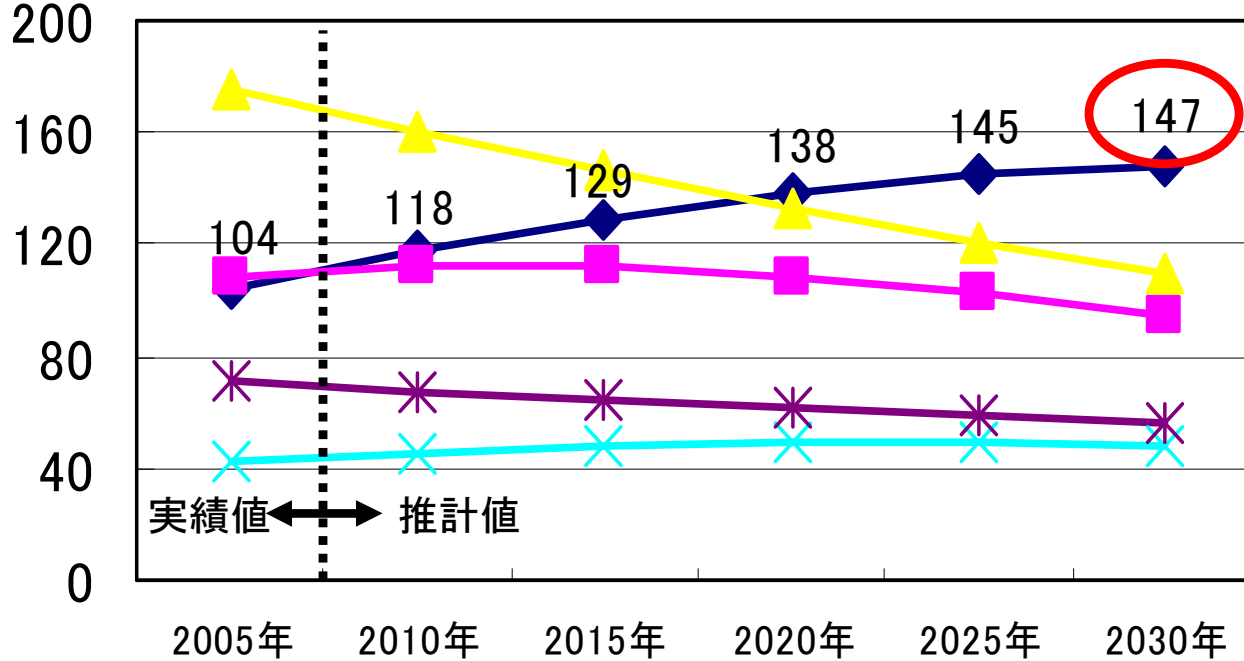


1人及び2人世帯は年々増加、4人及び5人以上世帯は減少
 一世帯当たりの人員は減少(H17年では2.78人)
 H17年における単独世帯の割合は全国47位
 (1位:東京都、2位:京都府、3位:北海道)



【構成別世帯数の推移及び将来推計】

(千世帯)



資料
 実績値 各年国勢調査
 推計値 国立社会保障・人口問題研究所

(全世帯数)	(503)	(503)	(499)	(490)	(476)	(457)
(単独世帯割合)	(21%)	(23%)	(26%)	(28%)	(30%)	(32%)

少子高齢化による核家族化の進展が進む
 特に単身世帯は著しく増加する。2030年では32%を占める見込み



【時系列 単独及びその他世帯数(奈良県)】

(単独世帯／全世帯)

(全世帯数)

(20.7%)

H17

104

396

(501)

(19.1%)

H12

93

392

(485)

(17.7%)

H7

81

374

(455)

(15.3%)

H2

63

348

(411)

(14.1%)

S60

53

321

(374)

(13.0%)

S55

44

294

(338)

(千世帯)

0 100 200 300 400 500 600

■ 単独世帯数 ■ その他世帯

〔資料 各年国勢調査〕

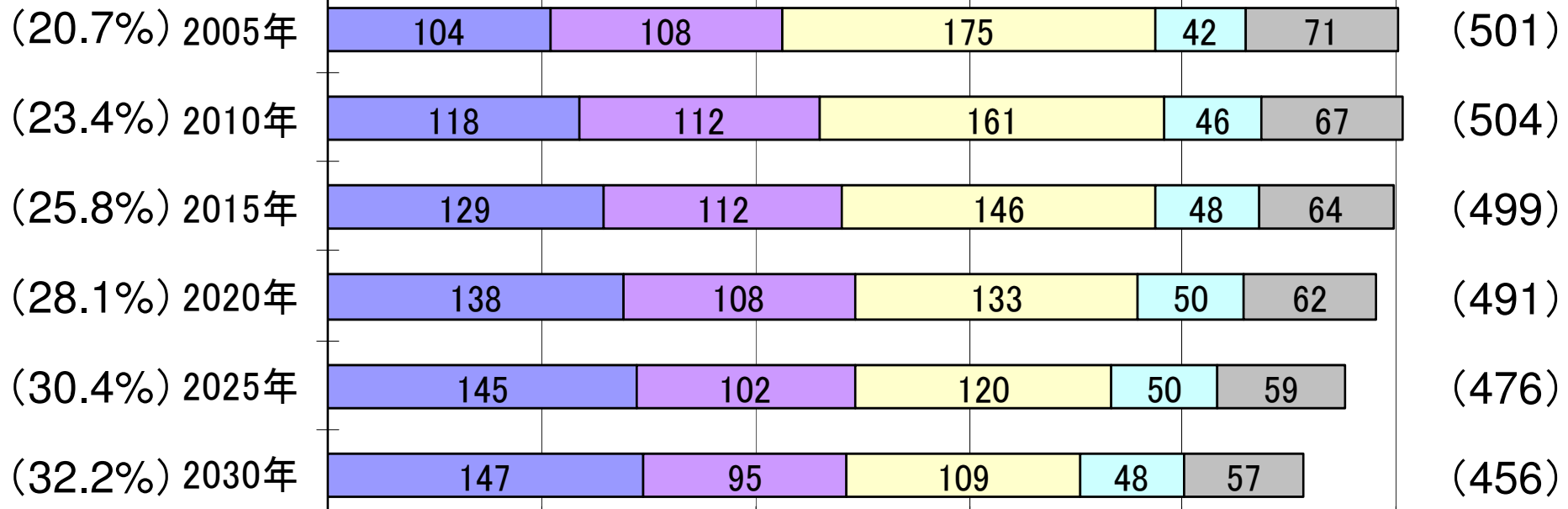
単独世帯は年々増加している。
平成17年では、全世帯の20.7%が単独世帯である。



【構成別世帯数の推移及び将来推計(65歳以上世帯)】

(単独世帯／全世帯)

(全世帯数)



0 100 200 300 400 500 600 (千世帯)

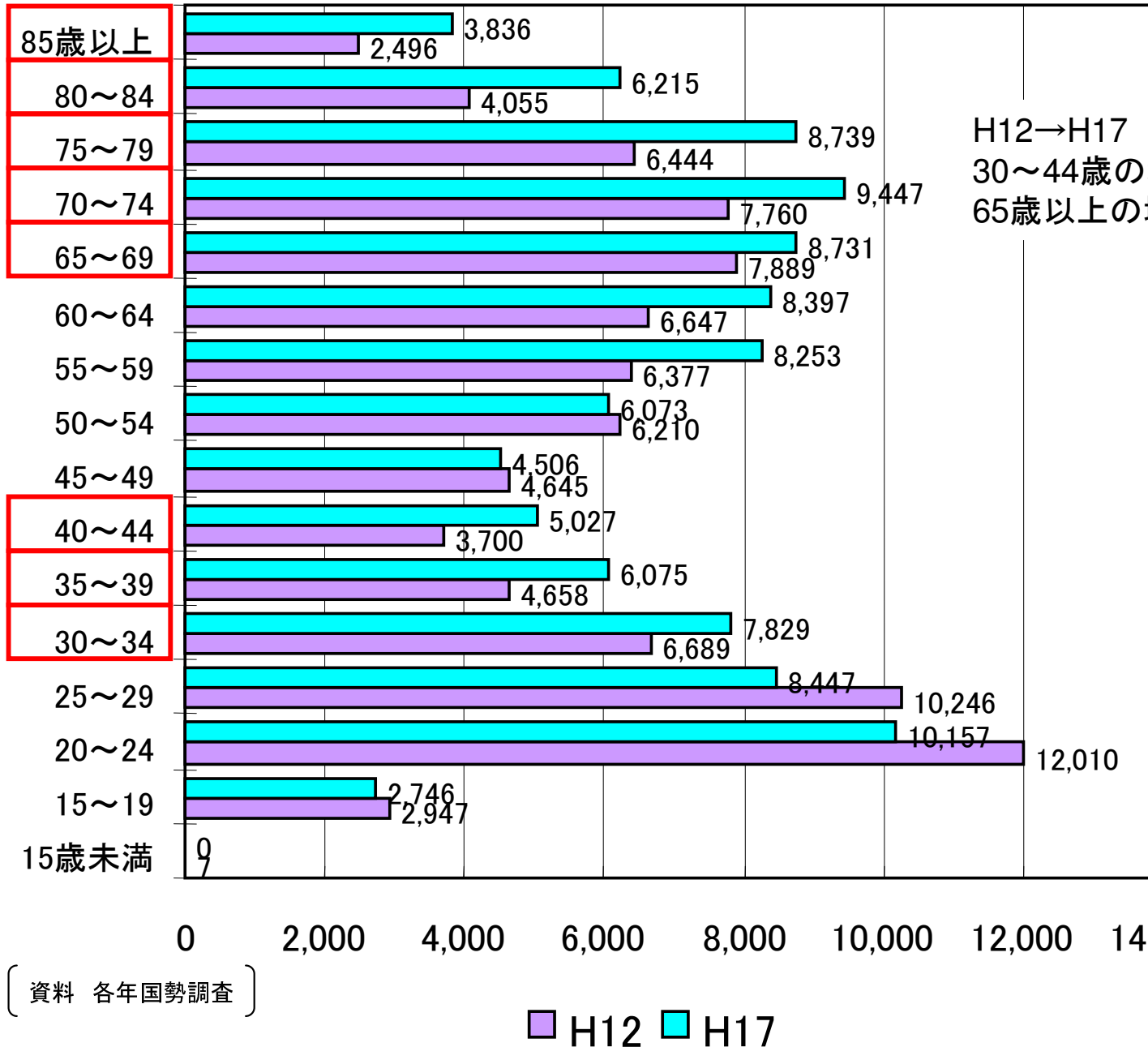
〔資料 国立社会保障・人口問題研究所〕

■ 単独 ■ 夫婦 □ 夫婦と子 □ ひとり親と子 ■ その他

将来的にも単独世帯は年々増加していく。
2030年では、全世帯の32.2%が単独世帯である。



【年齢別の単独世帯数(奈良県、H12年、H17年)】



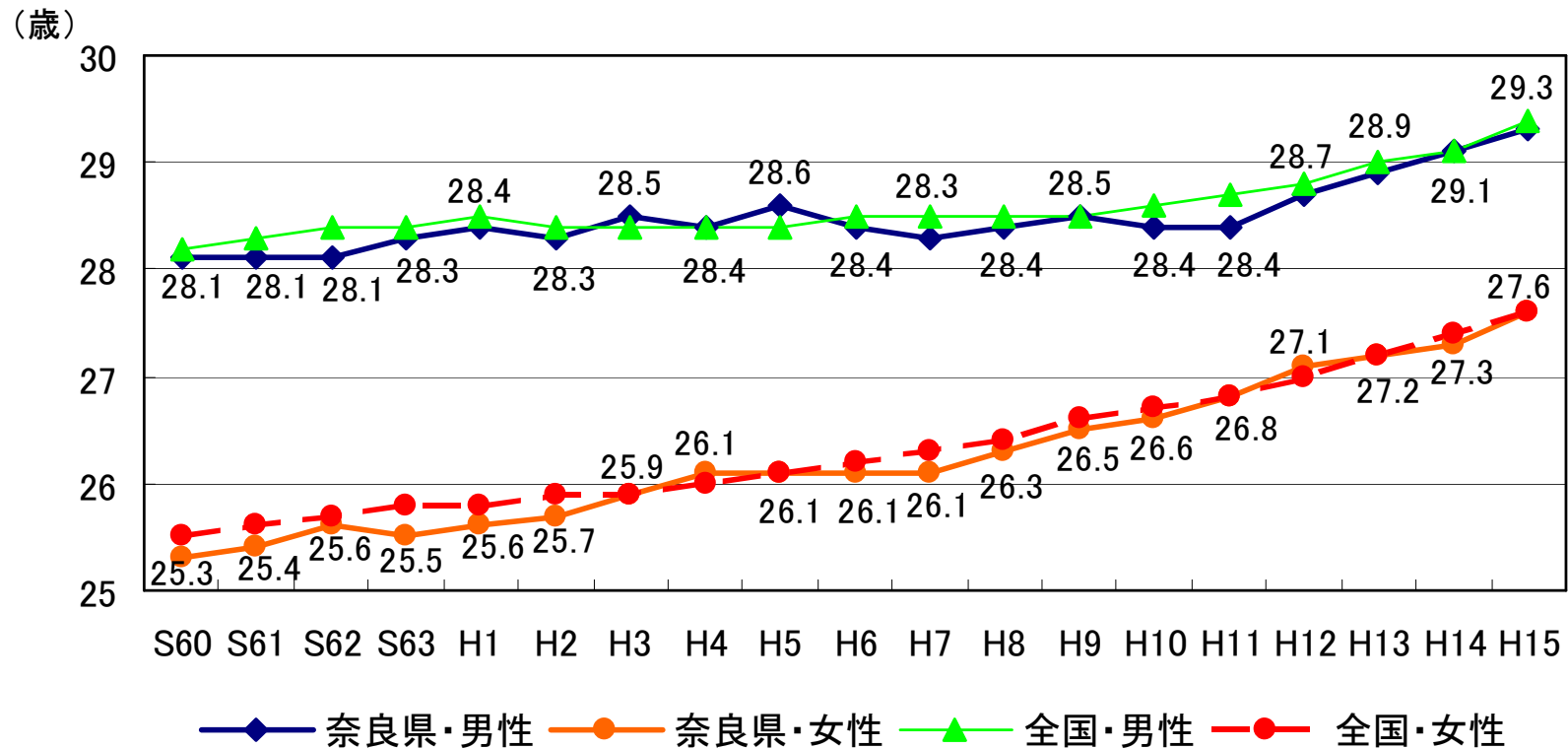
H12→H17
 30～44歳の増加率: 1.26倍
 65歳以上の増加率: 1.40倍

高齢者の単独世帯は増加している。
 30歳～44歳までの単独世帯も増加している。

〔資料 各年国勢調査〕



【時系列 平均初婚年齢の推移(全国・奈良県)】

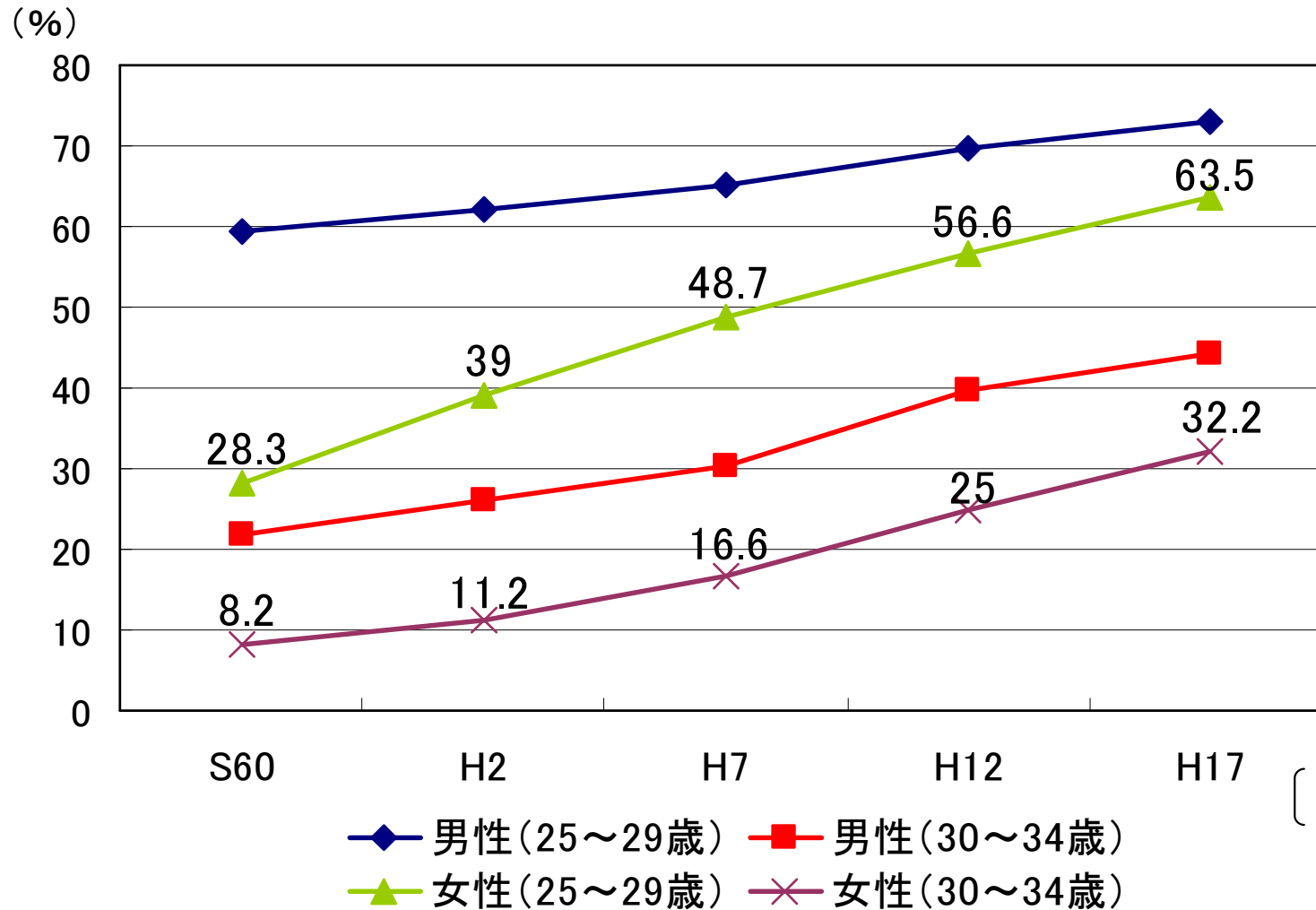


〔資料 人口動態統計〕

平均初婚年齢は上昇。
平成15年では、男性(29.3歳)、女性(27.6歳)である。



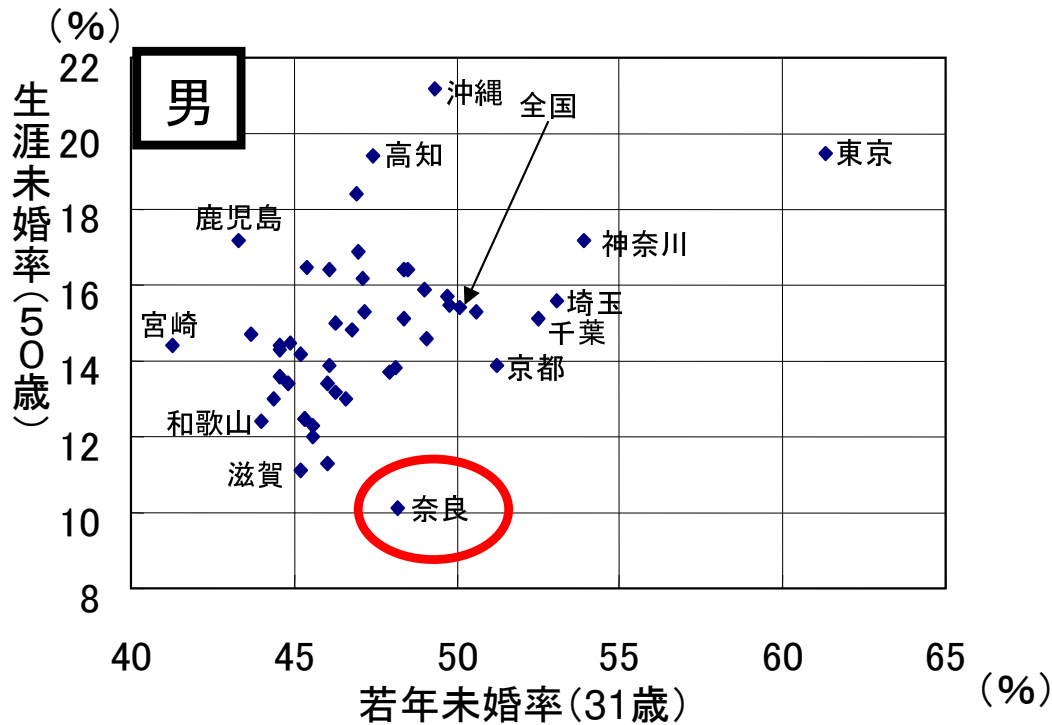
【未婚率の推移(奈良県)】



女性の未婚率が特に高くなっている

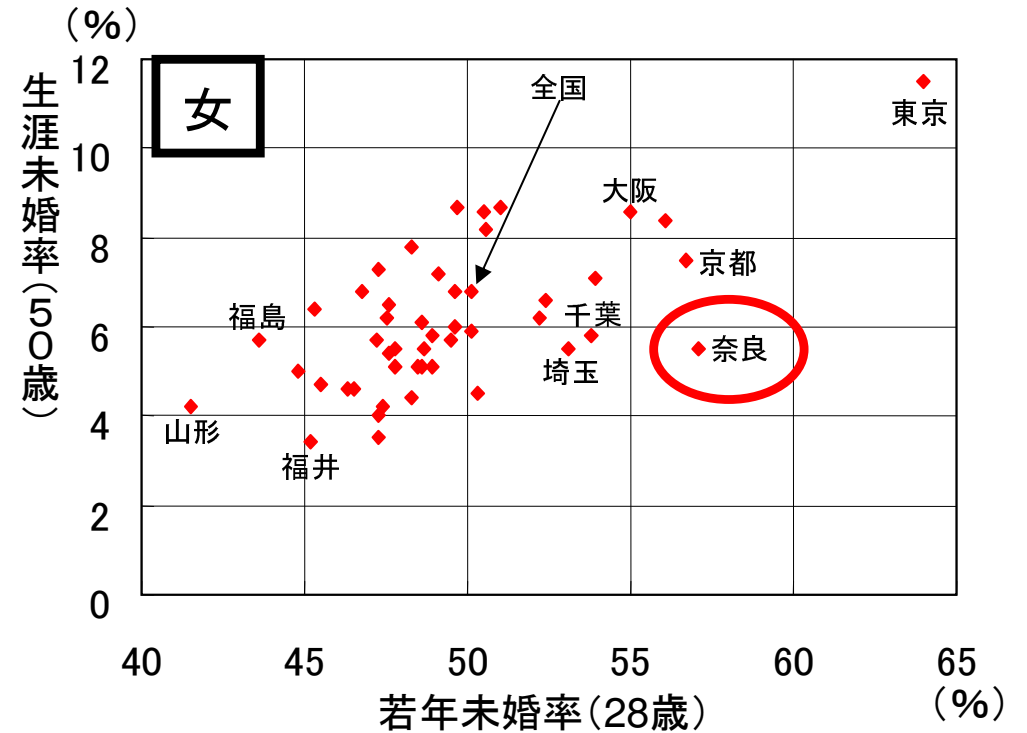


【男性の未婚率(都道府県)】



〔資料 国勢調査〕

【女性の未婚率(都道府県)】

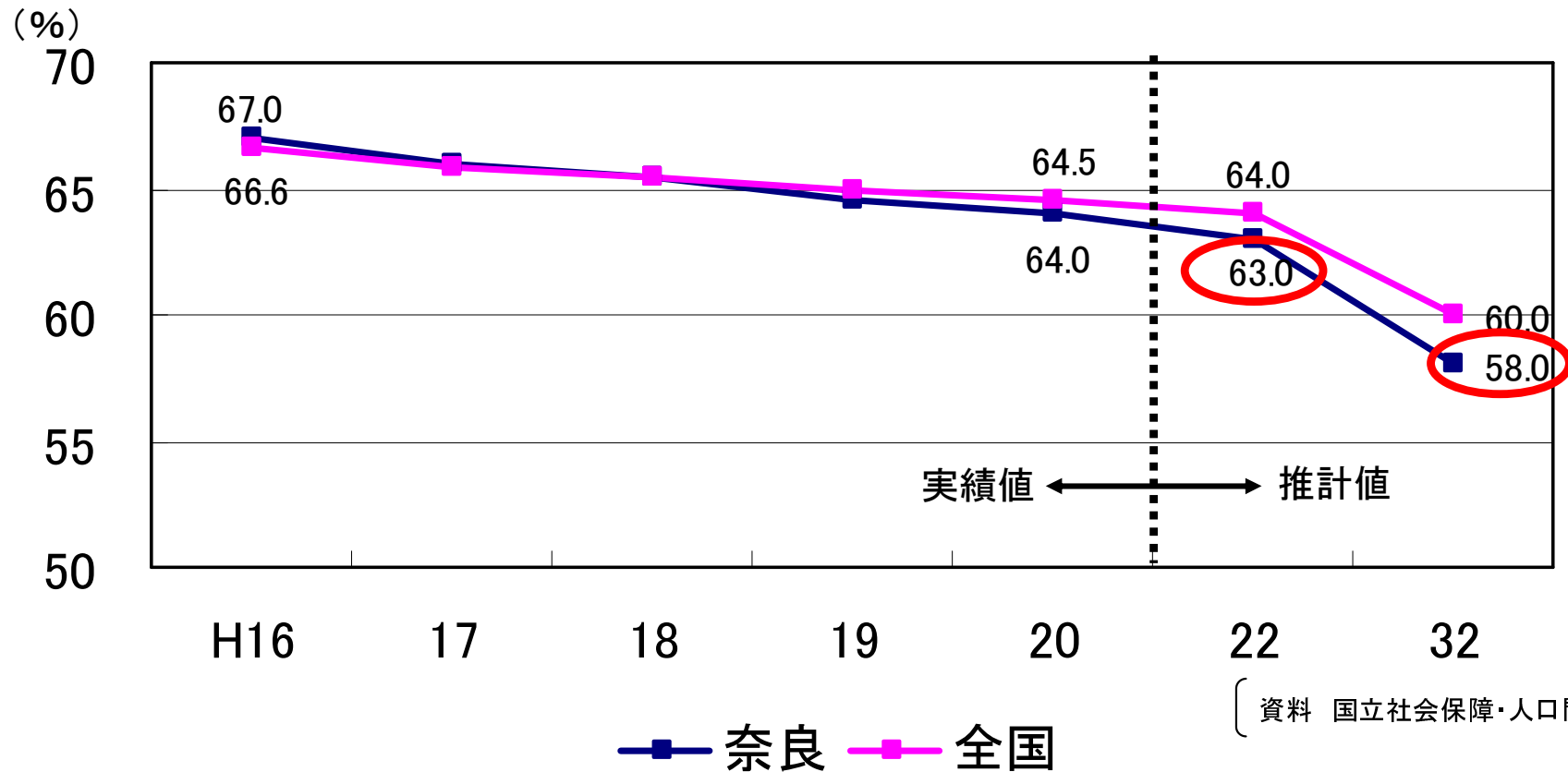


〔資料 国勢調査〕

男性の生涯未婚率は低いが、若年未婚率は平均程度
女性の若年未婚率は高い(結婚しない女性が多い。)



【生産年齢 人口割合 全国比較】

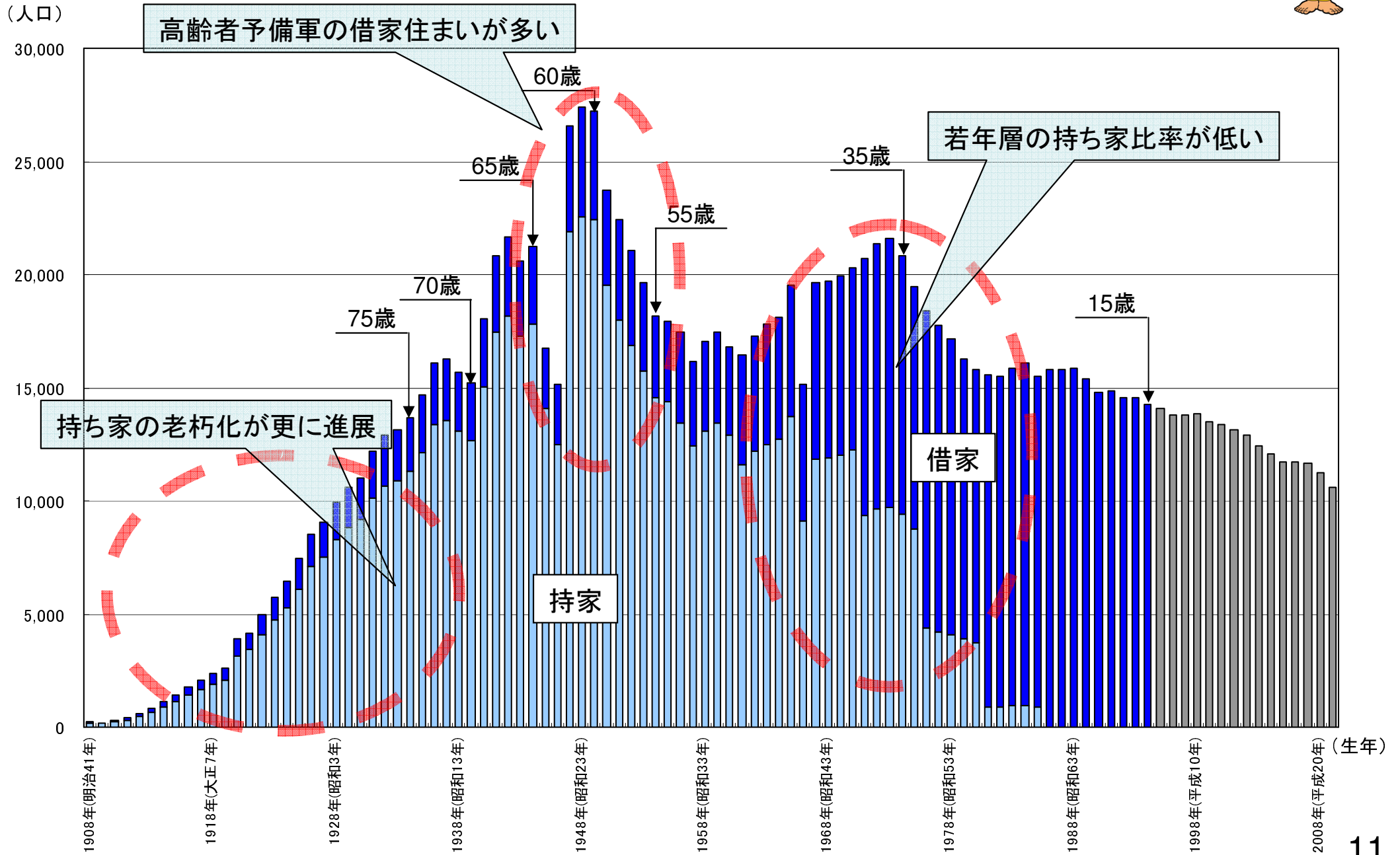


生産年齢(15~64歳)の人口割合は年々減少している
 平成32年では県民の58%程度に落ち込む予想
 生産年齢減少率(H22-H32)は全国6位
 (1位:秋田県、2位:北海道、3位:宮崎県)



奈良県の持家・借家別、生年別人口

(平成17年国勢調査・平成20年住宅土地統計調査より)

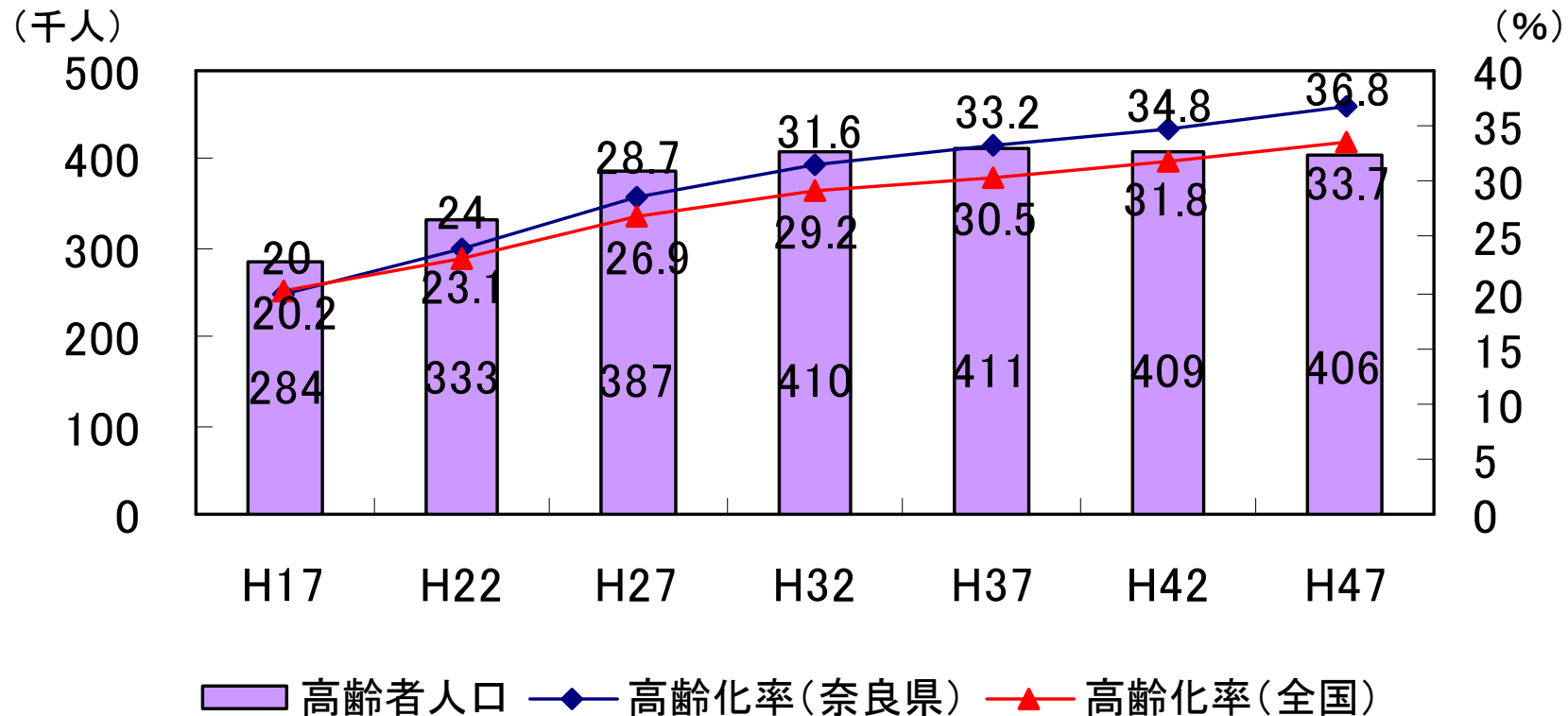




(2) 高齢者の現状



【高齢者人口と高齢化率 将来推計】

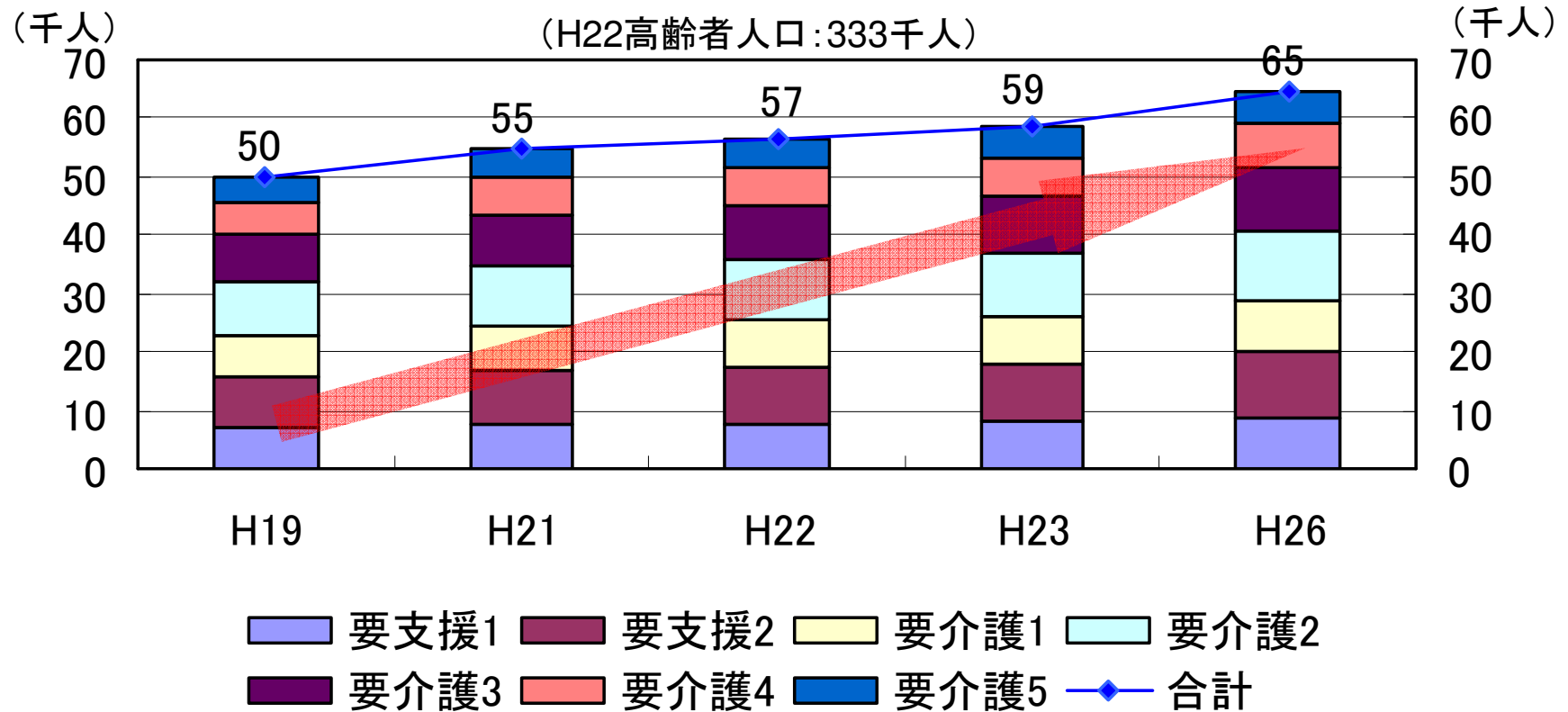


資料 国立社会保障・人口問題研究所

高齢者(65歳以上)は年々増加。
 高齢化の伸び率(H22-H32)は全国4位(急激に高齢者が増加する。)
 (1位:埼玉県、2位:千葉県、3位:茨城県)



【要介護・要支援認定者数の将来推計(奈良県)】



資料 H19 介護保険事業状況報告(H20.3末時点)
H21以降は、市町村による推計値の積み上げ

要介護・要支援認定者数は年々増加
H22年では高齢者人口の17.1%

(参考)

要介護・要支援認定の基準

どのくらいの介護が必要か、必要度に応じて7段階に分けられています。

(平成19年4月現在)

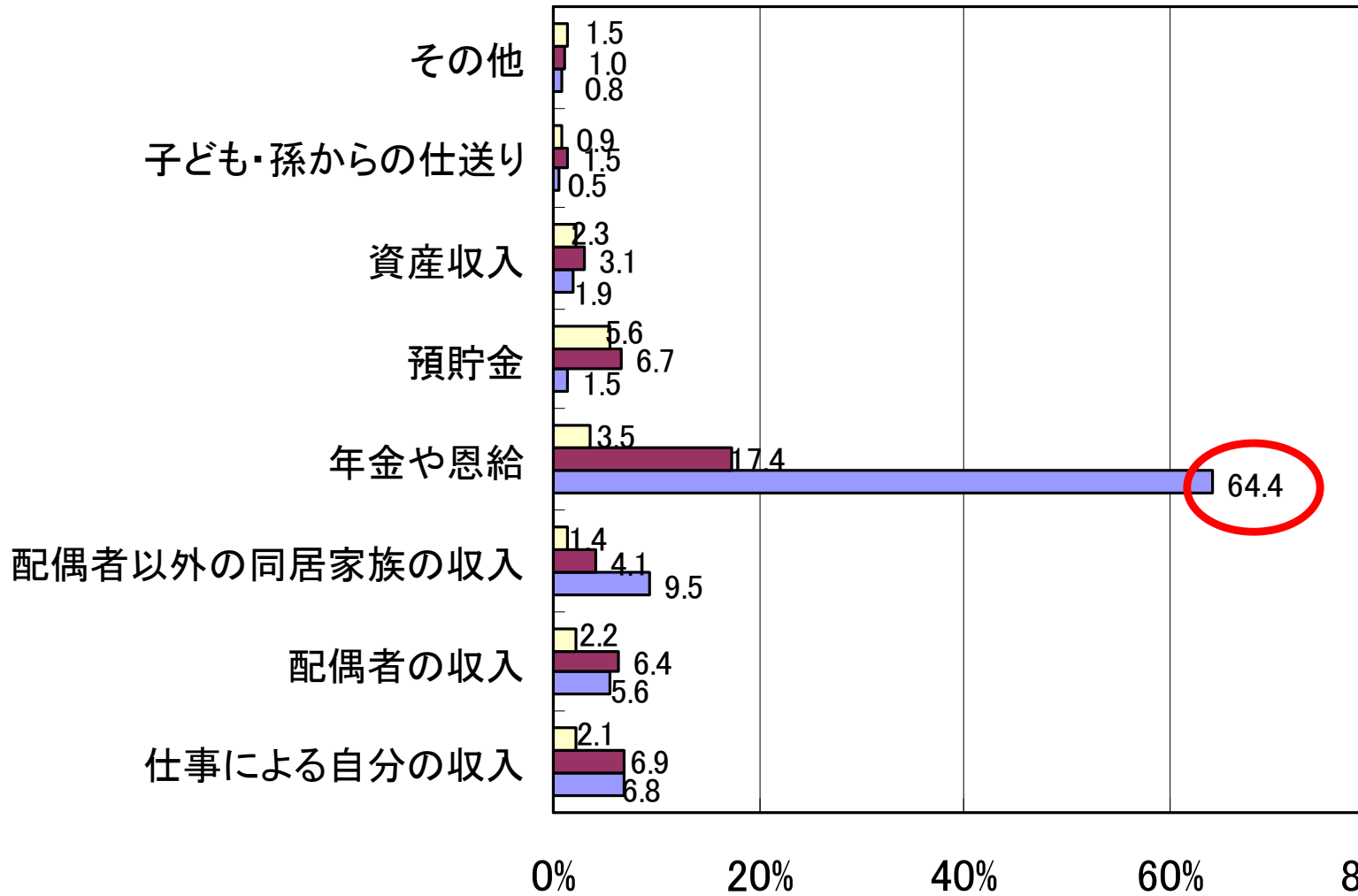
状態区分	身体の状態例 (目安)	利用できるサービスの 水準(目安)	月利用 限度額
要支援1	日常生活の一部に介護が必要だが、介護サービスを活用すれば心身の機能の維持・改善が見込める。	目標を設定してそれを達成するための「介護予防サービス」が利用できる。	49,700円
要支援2			104,000円
要介護1	立ち上がりや歩行が不安定。排泄や入浴などに部分的介助が必要。	訪問介護・訪問看護・通所リハビリテーションなど	165,800円
要介護2	立ち上がりや歩行などが自力では困難。排泄・入浴などに一部または全介助が必要。	週3回の訪問介護または通所リハビリテーションなど	194,800円
要介護3	立ち上がりや歩行などが自力ではできない。排泄・入浴・衣服の着脱など全面的な介助が必要。	訪問介護や夜間または早朝の巡回訪問介護・訪問看護・通所介護または通所リハビリテーションなど(1日2回程度のサービス)	267,500円
要介護4	日常生活能力の低下がみられ、排泄・入浴・衣服の着脱など全般に全面的な介助が必要。	訪問介護や夜間または早朝の巡回訪問介護・訪問看護・通所介護または通所リハビリテーションなど(1日2～3回程度のサービス)	306,000円
要介護5	日常生活全般について全面的な介助が必要。意志の伝達も困難。	訪問介護や夜間または早朝の巡回訪問介護・訪問看護・通所介護または通所リハビリテーションなど(1日3～4回程度のサービス)	358,300円





【高齢者世帯の収入源(奈良県)】

(N=3259)



年金・恩給を収入源として
いる高齢者が一番多い。

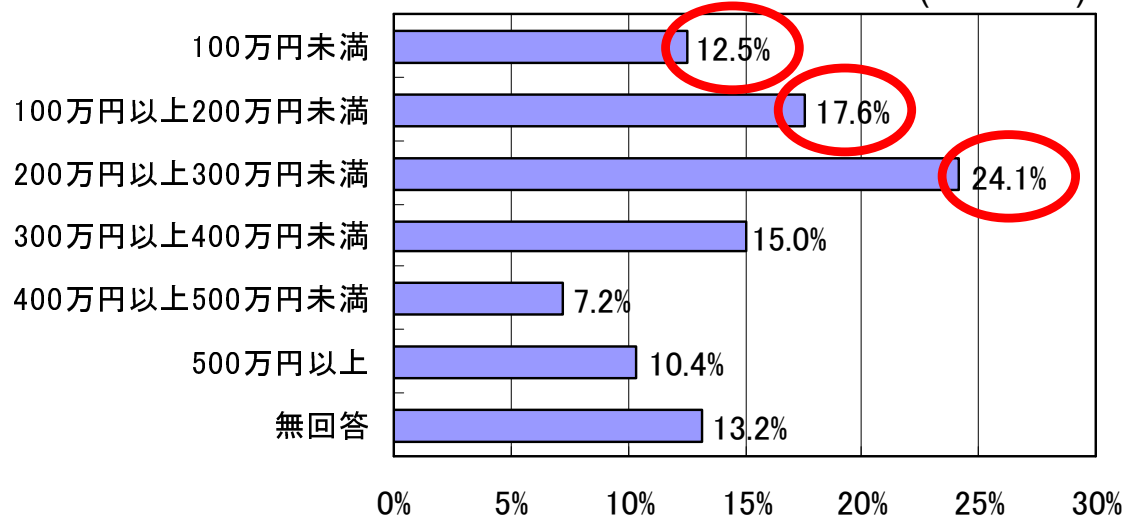
〔資料 長寿社会課実施のアンケート結果〕

■ 1番目 ■ 2番目 ■ 3番目



【高齢者世帯の収入状況(奈良県)】

(N=3259)

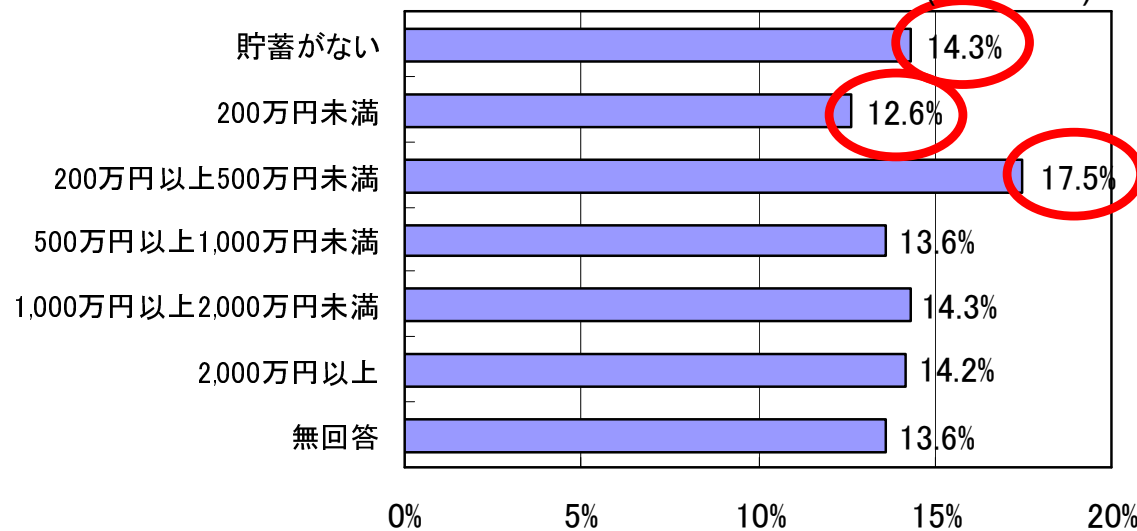


〔資料 長寿社会課実施のアンケート結果〕

年収が300万未満の高齢者が
全体の54%

【高齢者世帯の貯蓄額(奈良県)】

(N=3259)

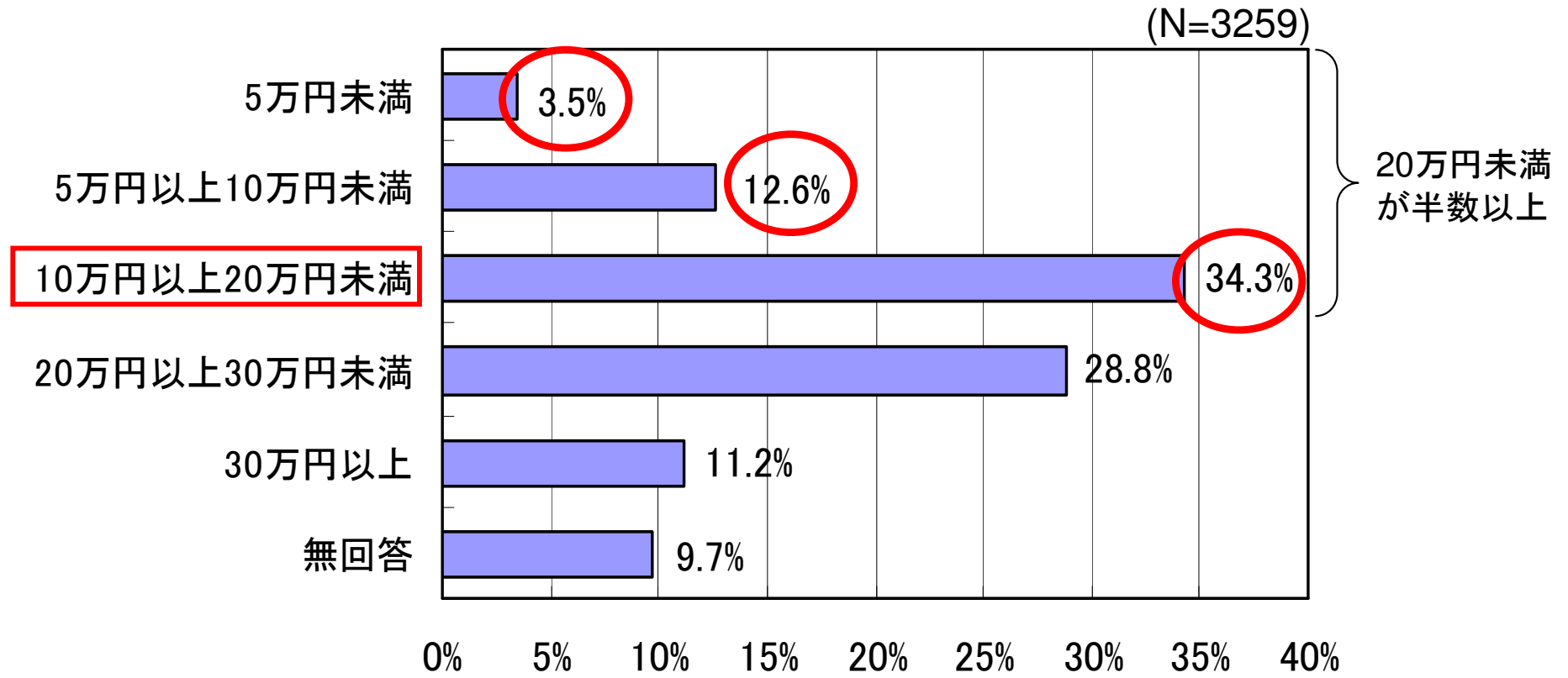


〔資料 長寿社会課実施のアンケート結果〕

貯蓄額が500万未満の高齢者
が全体の44%



【高齢者世帯の1ヶ月の生活費(奈良県)】



〔資料 長寿社会課実施のアンケート結果〕

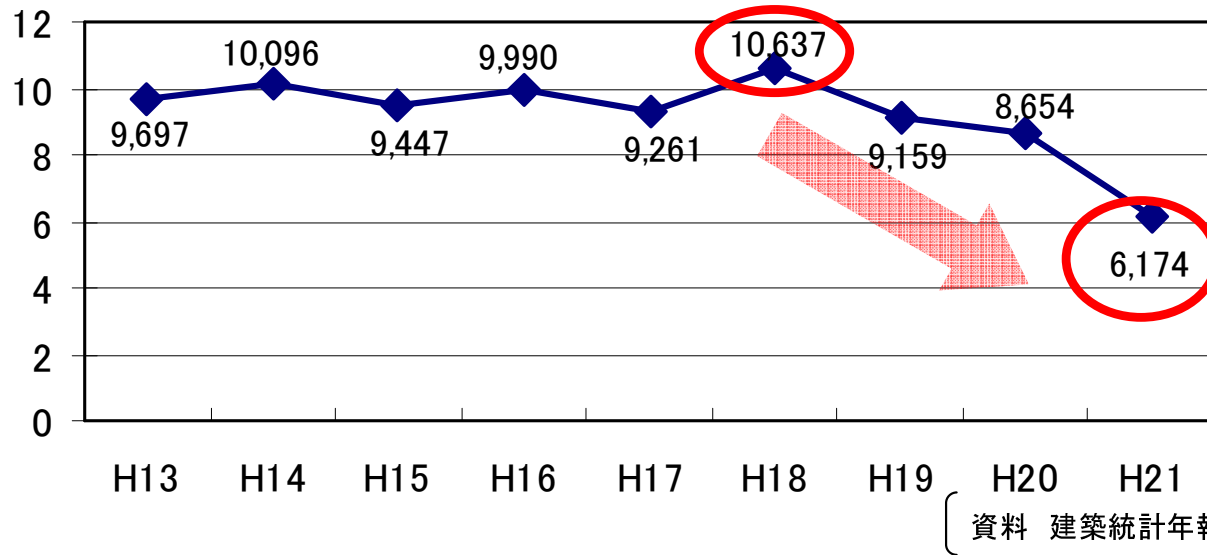
10万円以上20万円未満の生活費が一番多い



(3) 住 宅 及 び 住 生 活 の 状 況



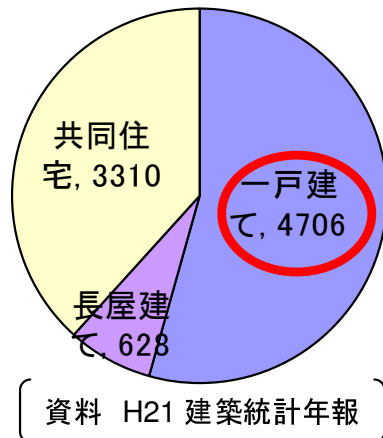
【住宅着工件数(奈良県)】



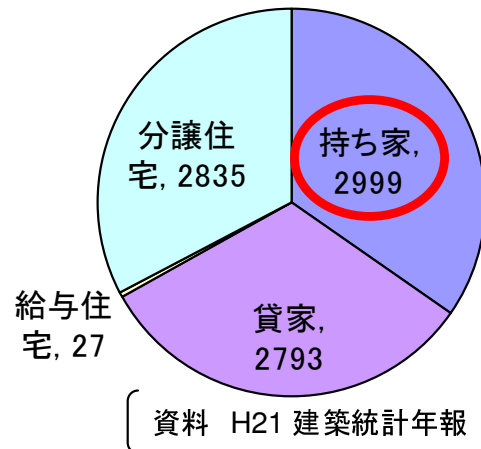
新設住宅の着工件数は下落
H18年で58%程度

「一戸建て」「持ち家」「木造」
の割合が高い

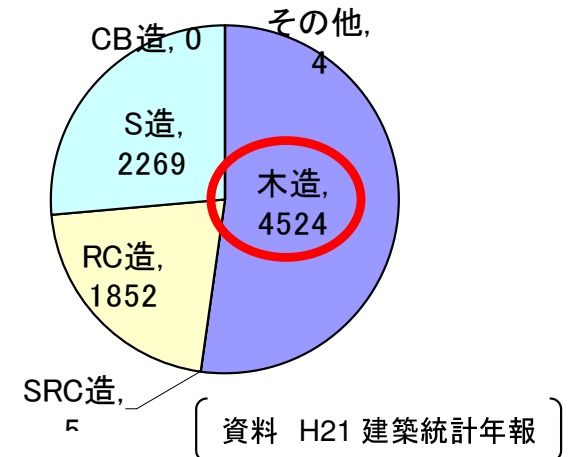
【H20年 新設住宅種別(その1)】



【H20年 新設住宅種別(その2)】

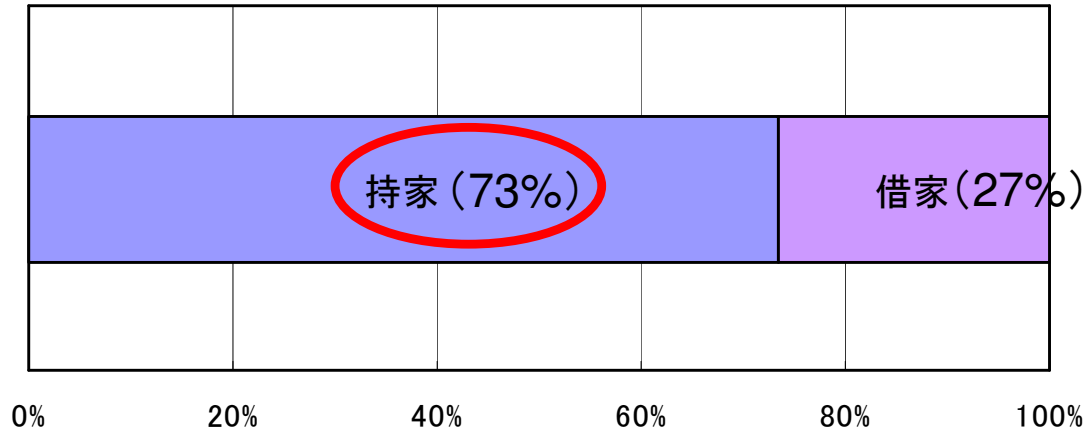


【H20年 新設住宅種別(その3)】





【H20年 持ち家・借家の割合(奈良県)】

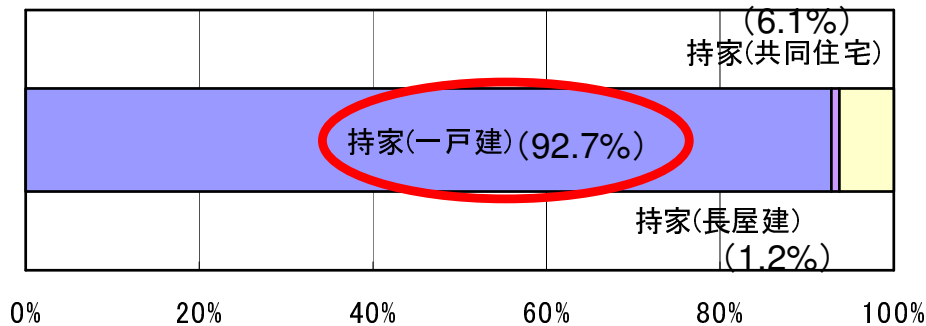


■ 持家 ■ 借家 [資料 H20 住宅土地統計調査]

住宅ストックにおいても「一戸建て」「持ち家」「木造」の割合が高い。

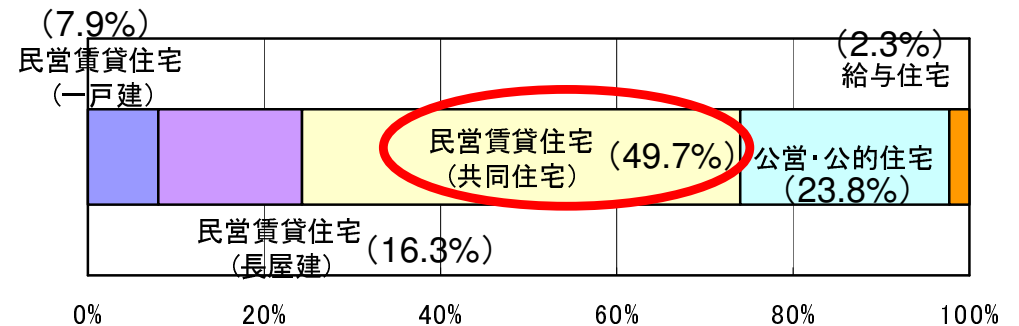
借家では民間賃貸住宅(共同住宅)の割合が半数程度

【H20年 持ち家 建て方の割合(奈良県)】



■ 持家(一戸建) ■ 持家(長屋建) ■ 持家(共同住宅)
[資料 H20 住宅土地統計調査]

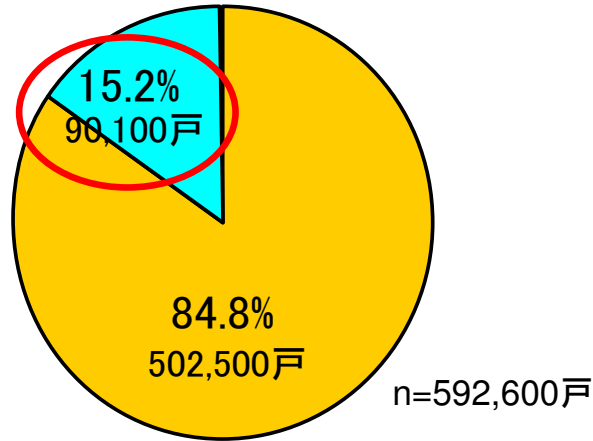
【H20年 借家 建て方の割合(奈良県)】



■ 民間賃貸住宅(一戸建) ■ 民間賃貸住宅(長屋建)
■ 民間賃貸住宅(共同住宅) ■ 公営・公的住宅
■ 給与住宅 [資料 H20 住宅土地統計調査]



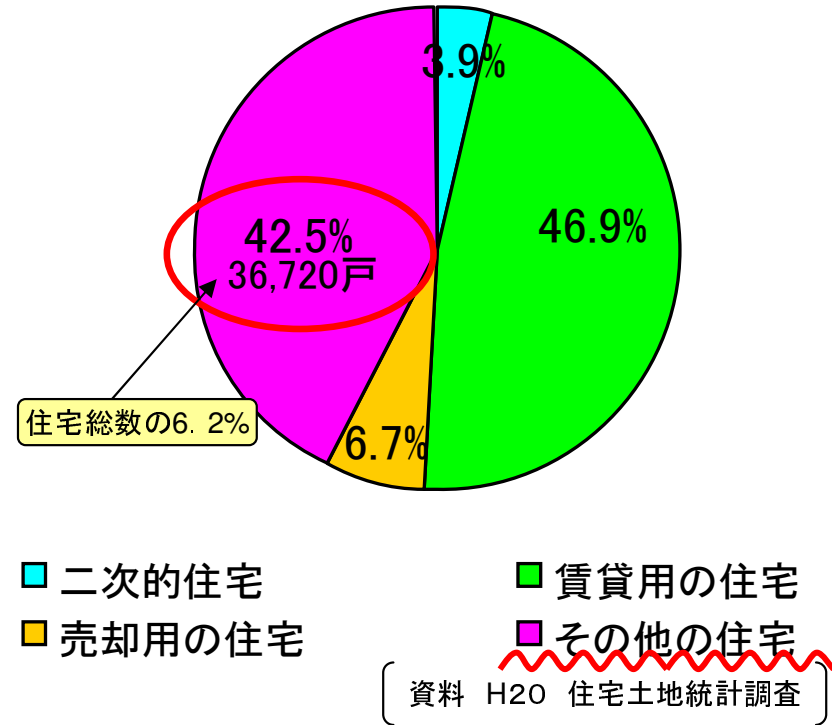
【居住世帯の有無(奈良県)】



■ 居住世帯有り ■ 居住世帯無し

〔資料 H20 住宅土地統計調査〕

【空き家の種別(奈良県)】

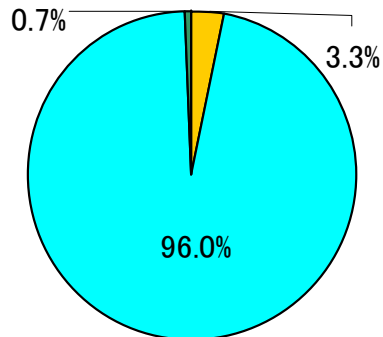


■ 二次的住宅
■ 売却用の住宅

■ 賃貸用の住宅
■ その他の住宅

〔資料 H20 住宅土地統計調査〕

【居住世帯無の種別(奈良県)】

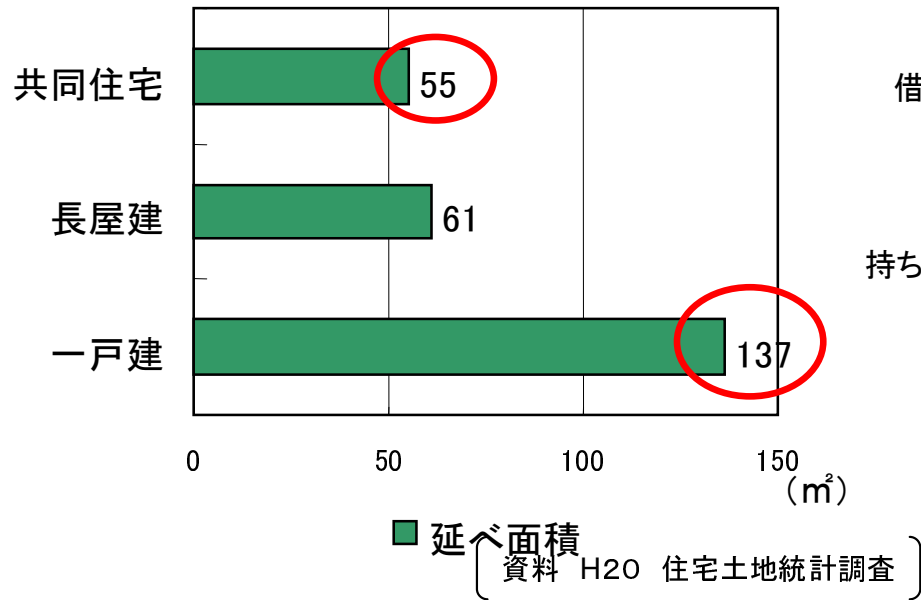


■ 一時現在者のみ ■ 空き家 ■ 建築中
〔資料 H20 住宅土地統計調査〕

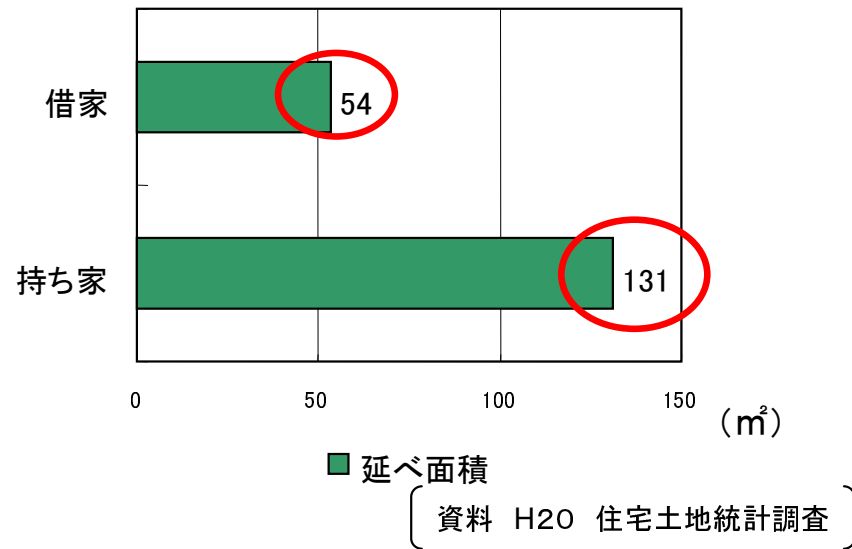
・居住世帯の無い住宅は、住宅総数の15.2%、内空き家は86,400戸(二次的住宅、賃貸用住宅、売却用住宅、その他住宅)
・その他住宅(利活用されていない住宅)は36,720戸で住宅総数の6.2%



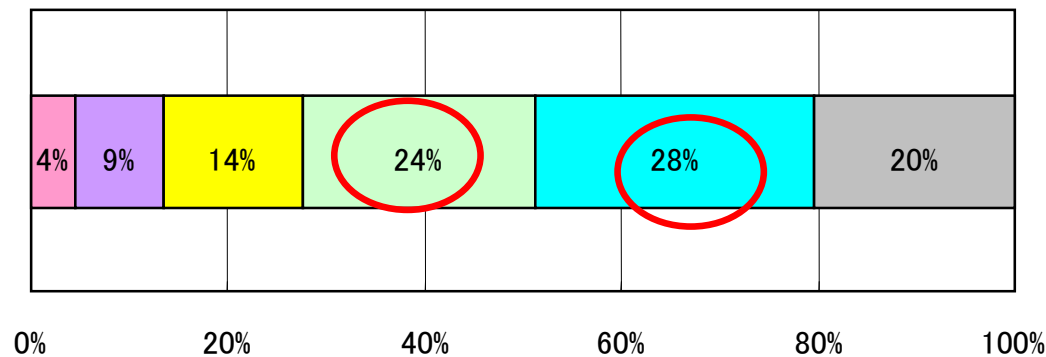
【一住宅あたり延べ床面積(奈良県)】



【住宅の所有別延べ床面積】



【住宅の延べ床別割合(奈良県)】

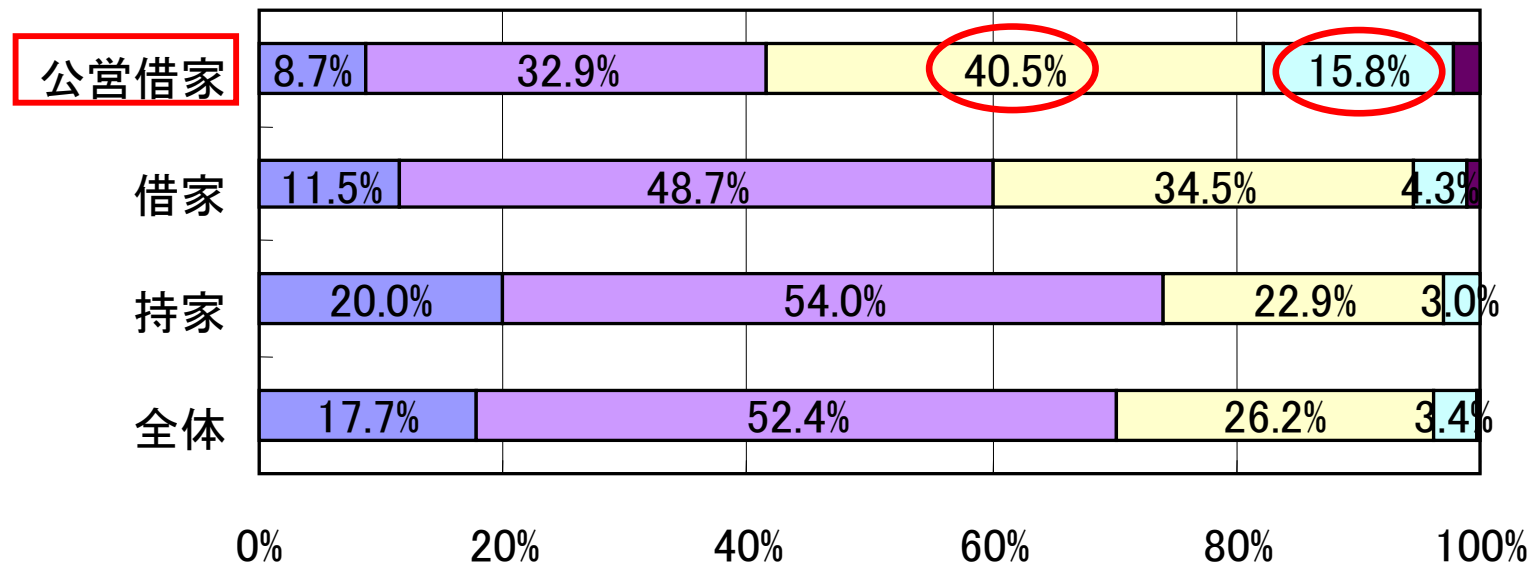


- ・一戸建て住宅では、一住戸当たりの延べ床面積が広い(137m²)が、共同住宅では狭い(55m²)
- ・持ち家と比較して、借家の延べ床面積は狭い(54m²)
- ・奈良県では、7割以上の住宅が延べ床面積70m²を超えている。

■ 29m²以下 ■ 30～49m² ■ 50～69 ■ 70～99 ■ 100～149 ■ 150m²以上
資料 H20 住宅土地統計調査



【住宅及び居住環境に関する総合評価(奈良県)】



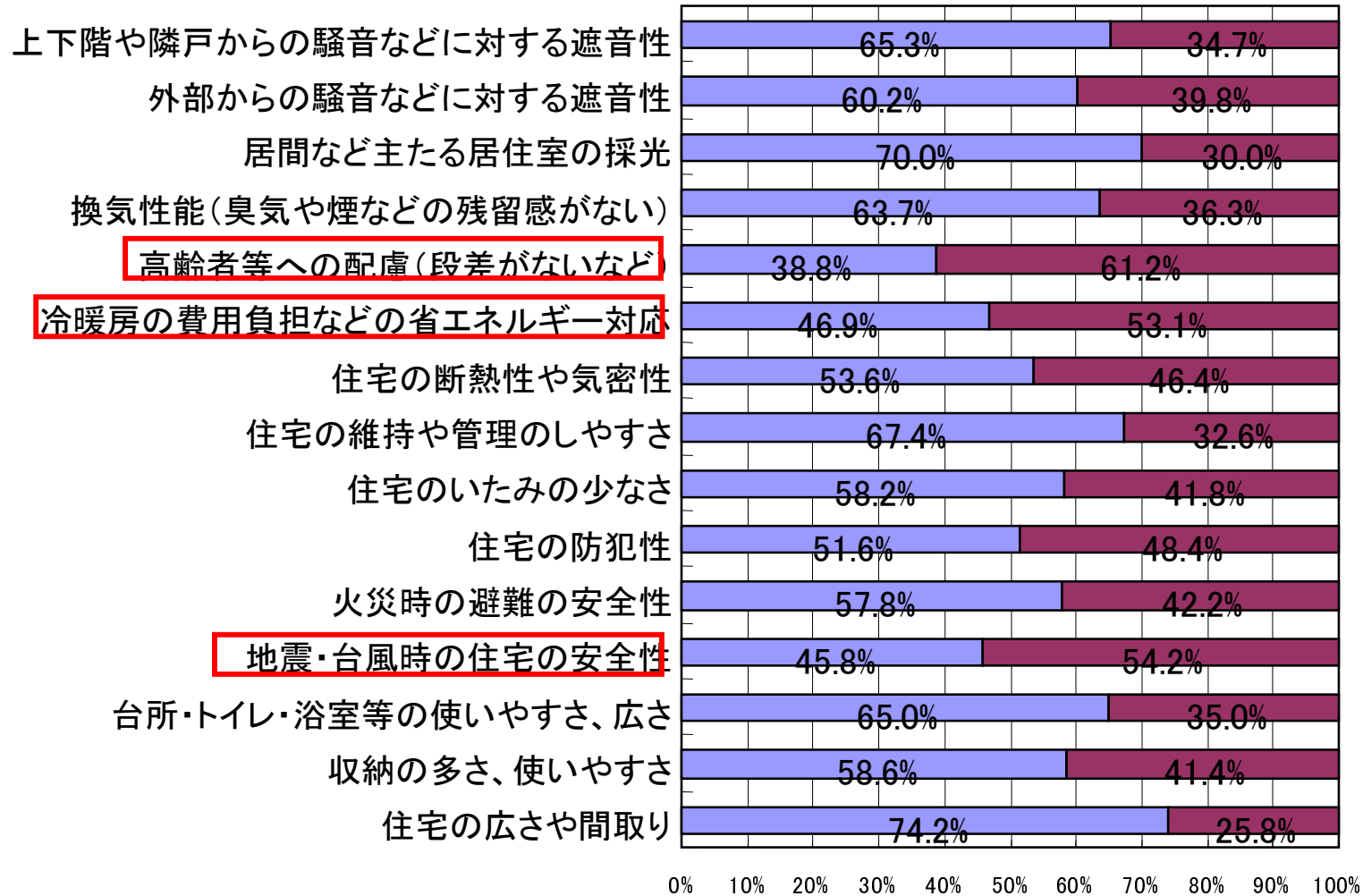
■ 満足している
 ■ まあ満足している
 ■ 多少不満がある
■ 非常に不満がある
 ■ 不明

〔資料 H20 住生活総合調査〕

公営借家の不満の割合が高い
持ち家では7割以上が満足している



【住宅の各要素に対する満足度】



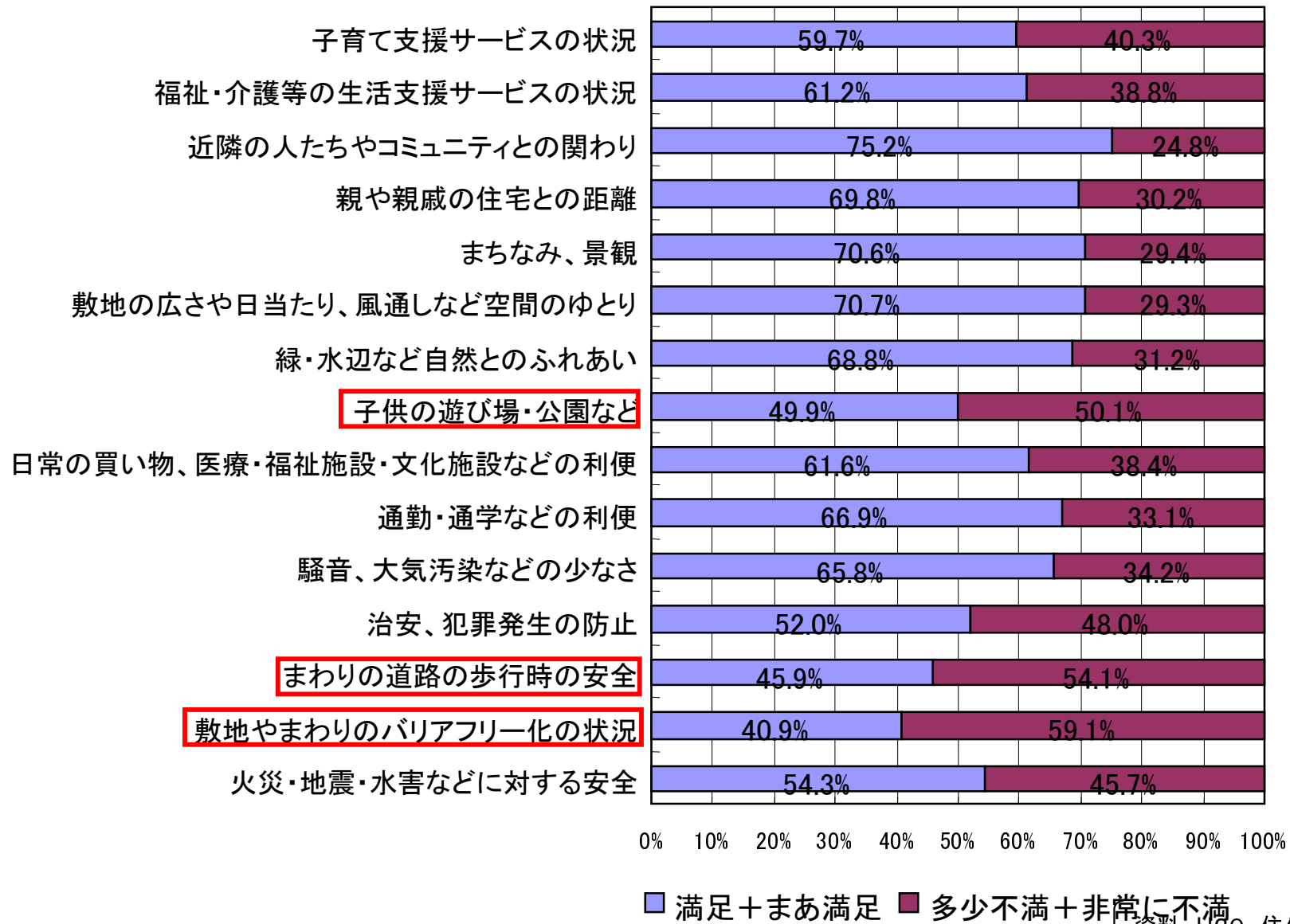
■ 満足+まあ満足 ■ 多少不満+非常に不満

〔資料 H20 住生活総合調査〕

「高齢者等への配慮」の不満度が一番高い
 「地震・台風時の住宅の安全性」「省エネルギー性」の不満度も高い



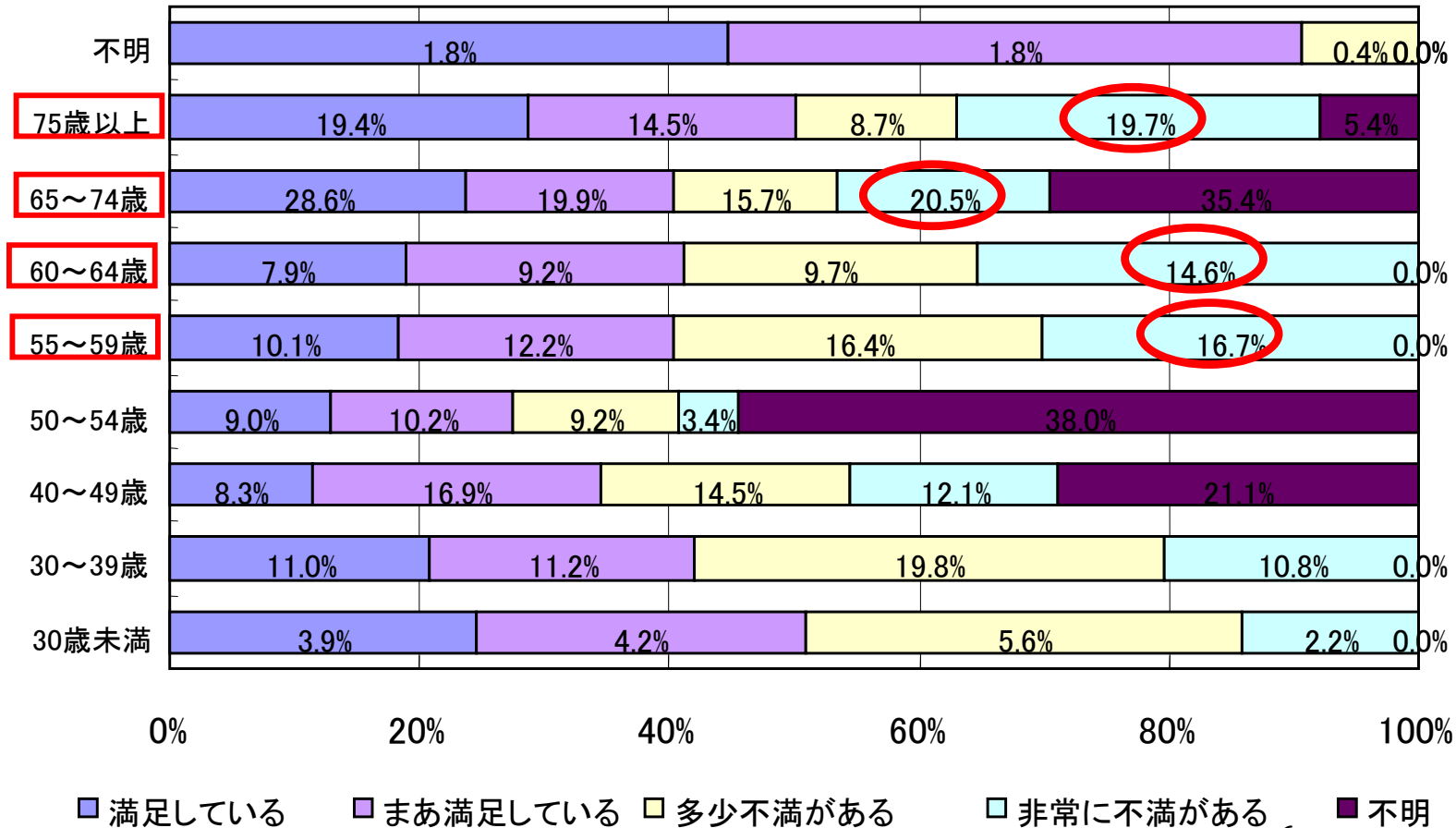
【居住環境の各要素に対する満足度】



「敷地やまわりのバリアフリー化の状況」の不満足度が一番高い
 「まわりの道路の歩行の安全」「子供の遊び場・公園」の不満足度も高い



【家計を支える者の年齢別の住宅及び住環境の総合評価(奈良県)】

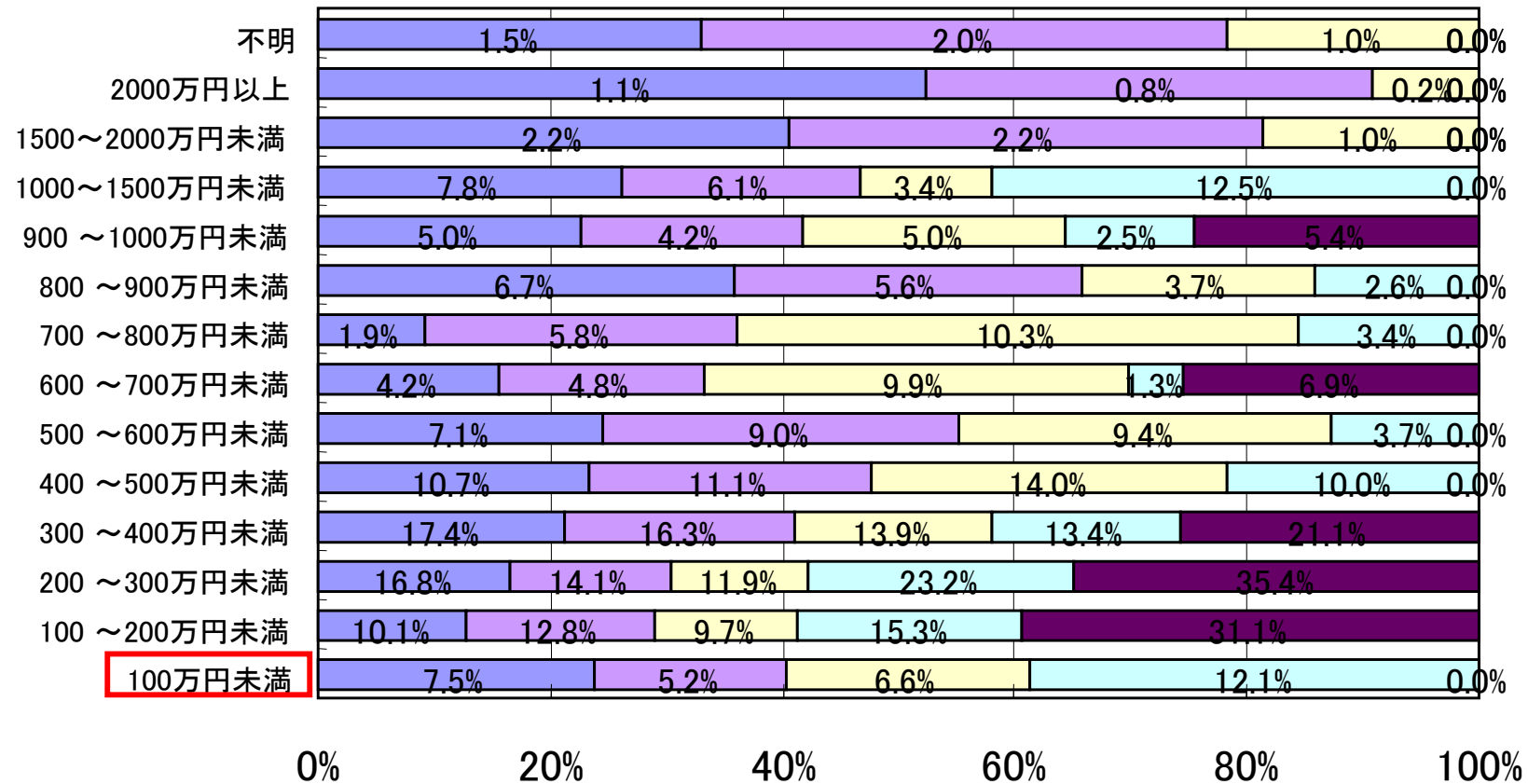


資料 H20 住生活総合調査

高齢者の不満度が若年層に比べて高い



【世帯の年間収入階級別の住宅及び住環境の総合評価(奈良県)】



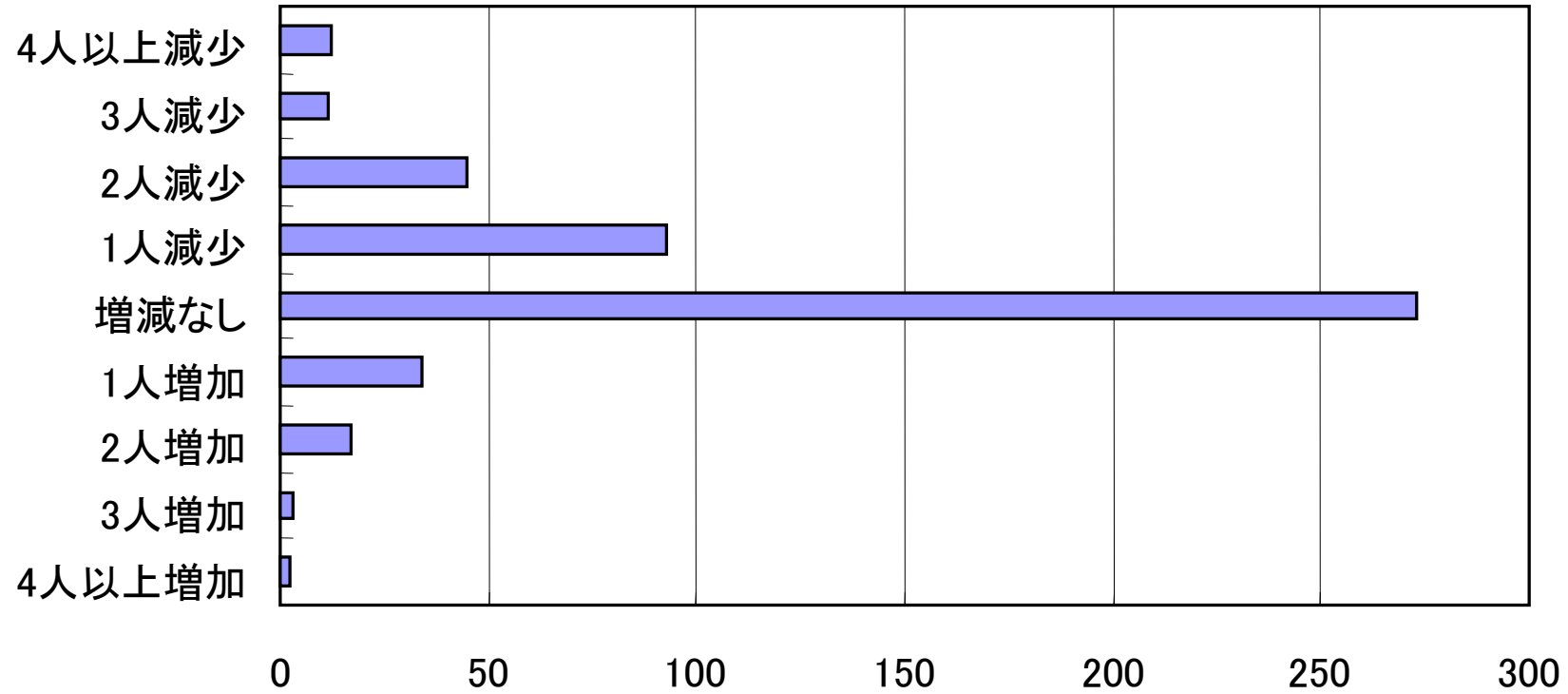
■ 満足している ■ まあ満足している □ 多少不満がある □ 非常に不満がある ■ 不明

〔資料 H20 住生活総合調査〕

100万円未満の不満足度が高い



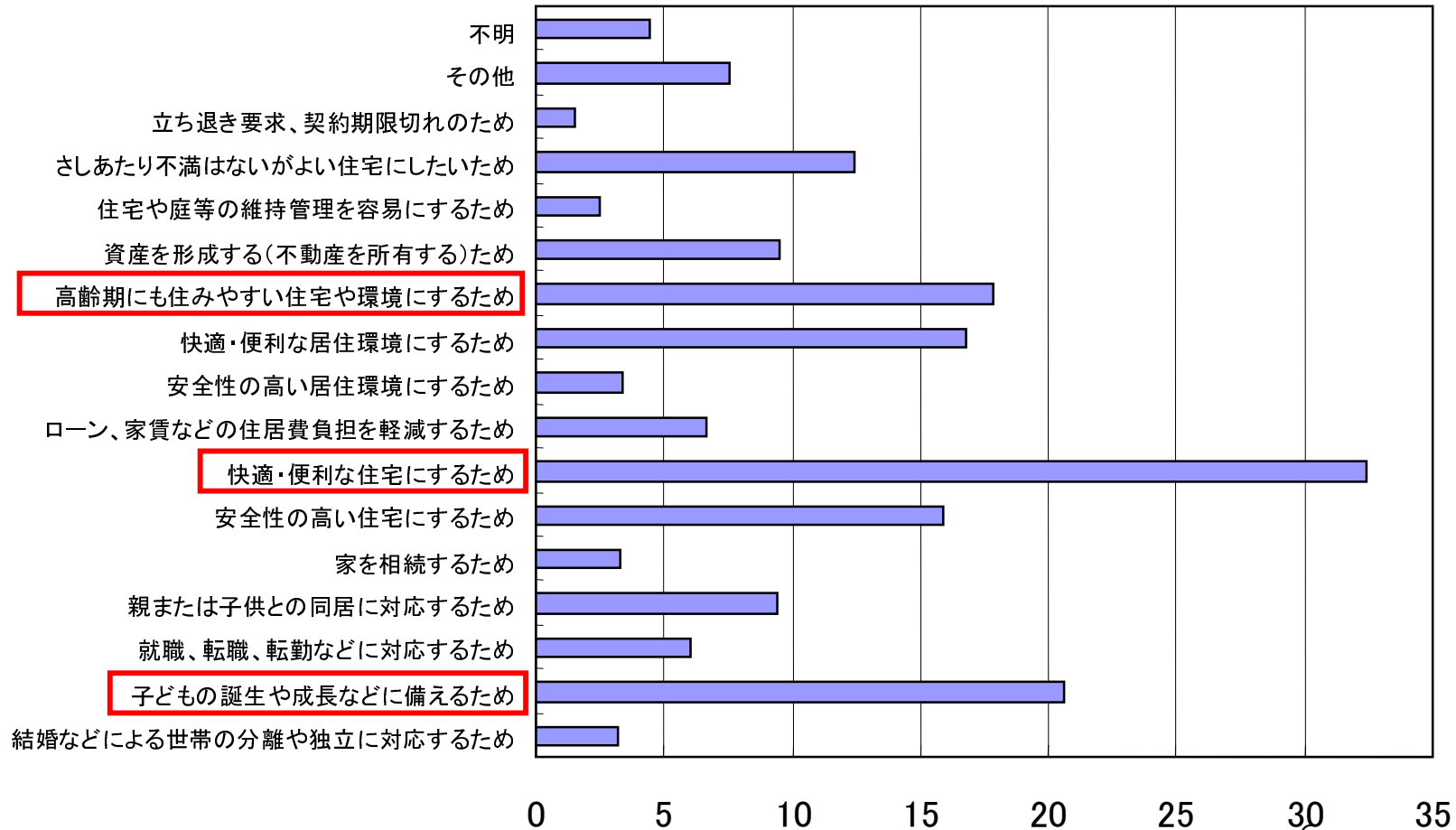
【世帯人員の増減(奈良県)】



〔資料 H20 住生活総合調査〕



【居住状況の変化(住みかえ・改善の目的)】

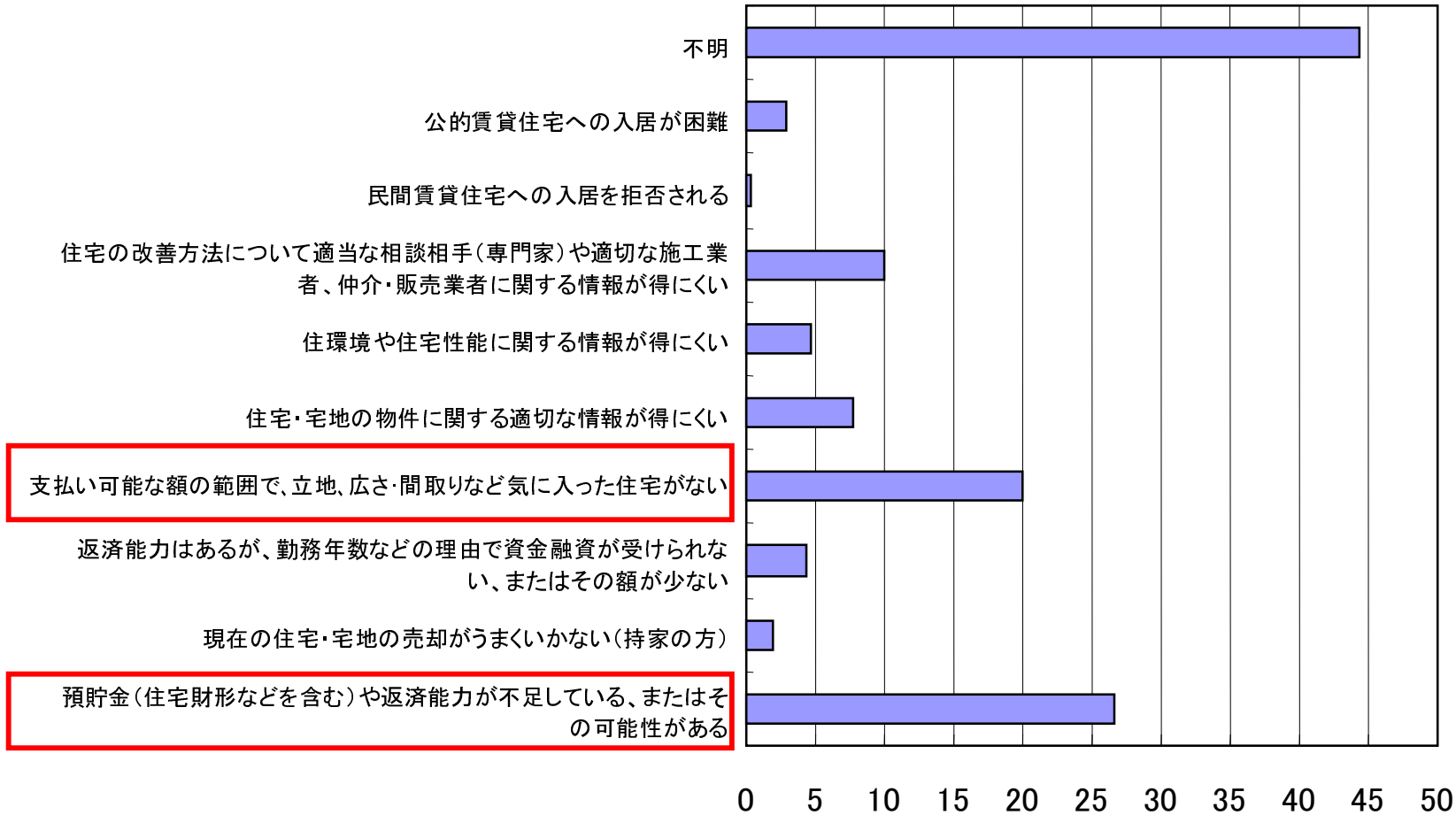


資料 H20 住生活総合調査

「高齢期にも住みやすい住宅や環境にするための改善が多い」



【居住状況の変化(住みかえ・改善が困難な理由)】

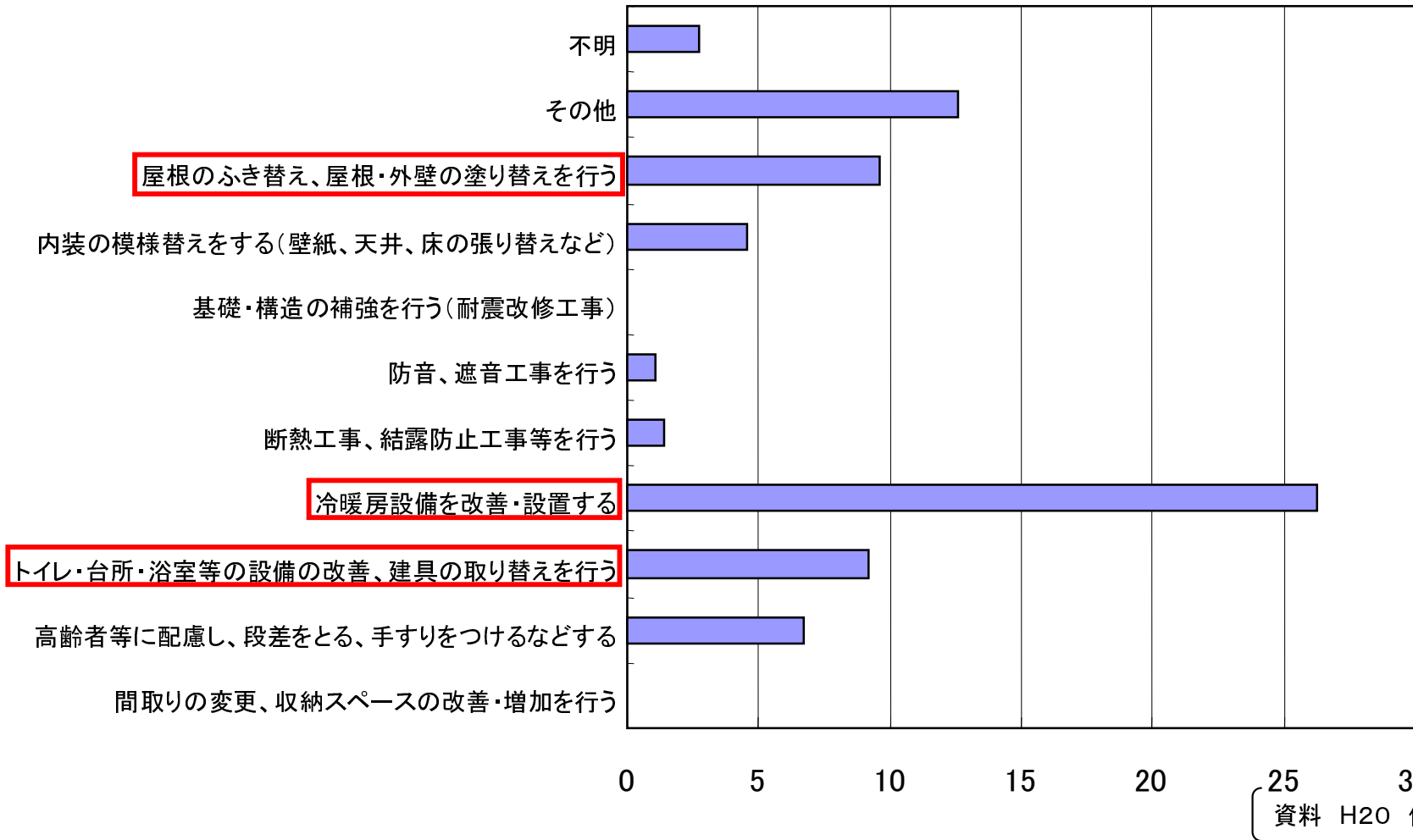


〔資料 H20 住生活総合調査〕

資金不足が原因で住みかえ・改善が出来ない理由が多い



【居住状況の変化(リフォームの内容)】



冷暖房器具の改善、設置程度のリフォームが多い



(4) 奈良県内の市街地および郊外住宅地の現状



【奈良県内の市街地及び郊外住宅地の現状】

(1) 調査年度

平成19年度

『「住まいの奈良」魅力再生・創出実態調査等業務』

(2) 調査機関

奈良県土木部まちづくり推進局住宅課

(3) 調査箇所

① 学園前ブロック

- ・学園大和町(4丁目)
- ・登美ヶ丘(3、4丁目)
- ・学園前駅周辺

② 大和郡山ブロック

- ・矢田山町
- ・大和郡山市中心部

③ 橿原ブロック

- ・白橿町1丁目
- ・橿原神宮前、大和八木駅周辺

④ 桜井ブロック

- ・朝倉台西(1,2,3,5,8丁目)
- ・桜井市中心部

⑤ 西大和ブロック

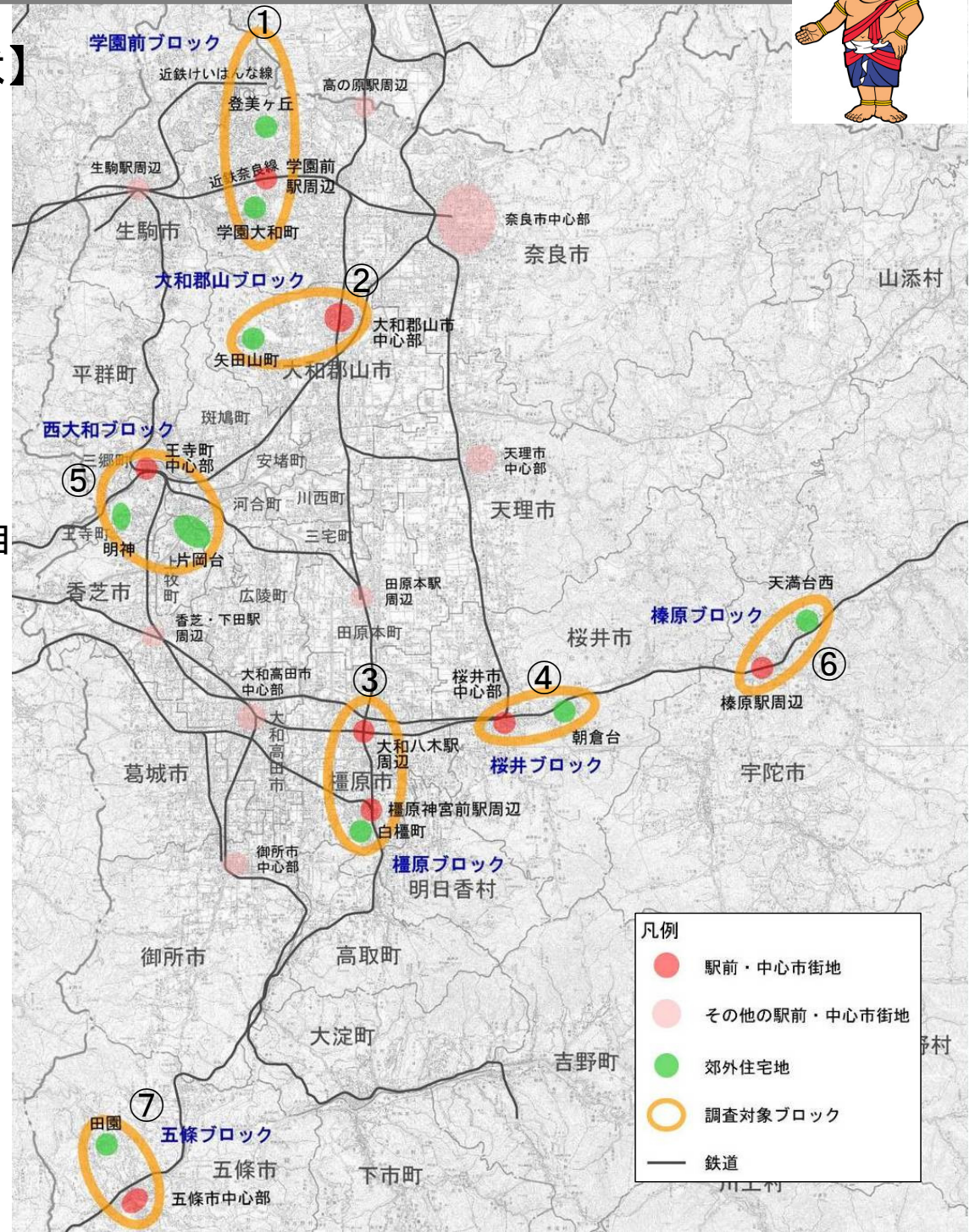
- ・明神(2丁目)
- ・片岡台(1,2丁目)
- ・王寺町中心部

⑥ 榛原ブロック

- ・天満台西3丁目
- ・榛原駅周辺

⑦ 五條ブロック

- ・田園3丁目
- ・五條市中心部



凡例	
●	駅前・中心市街地
●	その他の駅前・中心市街地
●	郊外住宅地
 	調査対象ブロック
—	鉄道

奈良県住生活基本計画課題検討委員会 資料



● 現況調査の結果
○ アンケート調査の結果

8 全ブロックの比較表

比較項目		学園前ブロック			大和郡山ブロック		橿原ブロック		桜井ブロック	
住宅地名		学園大和町（4丁目）	登美ヶ丘（3・4丁目）	学園前駅周辺	矢田山町	大和郡山市中心部	白檀町1丁目	橿原神宮前・大和八木駅周辺	朝倉台西（1・2・3・5・8丁目）	桜井市中心部
入居開始年		昭和38年	昭和35年	—	昭和42年	—	昭和52年	—	昭和52年	—
居住者像	高齢化率 ・全国平均：20.1% ・県平均：19.9%	●39.9%	●33.0%	●20.1%	●24.5%	●19.8%	●24.1%	●16.4%	●29.1%	●23.4%
	世帯主年齢 54歳以下 55～64歳 65歳以上	○13.0% ○24.0% ○57.0%	○17.9% ○23.2% ○51.8%	○36.7% ○26.7% ○36.7%	○26.2% ○21.4% ○47.6%	○48.0% ○16.0% ○28.0%	○16.2% ○29.4% ○51.5%	○60.0% ○16.0% ○16.0%	○14.9% ○14.9% ○63.8%	○29.6% ○37.0% ○22.2%
	前住地	○県内：35.0% ○県外：57.0%	○県内：30.3% ○県外：58.9%	○県内：63.3% ○県外：33.3%	○県内：61.9% ○県外：35.7%	○県内：76.0% ○県外：12.0%	○県内：63.2% ○県外：29.4%	○県外：80.0% ○県内：16.0%	○県内：46.9% ○県外：51.0%	○県外：22.2% ○県内：77.7%
	世帯主動務地	○大阪方面：62.2%	○大阪方面：50.0%	○大阪方面：72.3%	○大阪方面：28.5%	○大阪方面：30.0%	○大阪方面：45.4%	○大阪方面：19.1%	○大阪方面：46.6%	○大阪方面：26.7%
	少人数世帯率 ・県平均：42.4%	○53.0%	○37.5%	○53.4%	○59.5%	○36.0%	○38.2%	○44.0%	○61.7%	○62.9%
	親子世帯率 ・県平均：43.4%	○32.0%	○21.4%	○40.0%	○28.5%	○48.0%	○35.3%	○52.0%	○19.1%	○29.6%
	三世代同居率 ・県平均：7.7%	○9.0%	○21.4%	○3.3%	○4.8%	○8.0%	○14.7%	○0.0%	○6.4%	—
	主な住宅タイプ	●戸建住宅	●戸建住宅	●分譲・賃貸共同住宅 ●戸建住宅	●戸建住宅	●分譲・賃貸共同住宅	●戸建住宅	●分譲・賃貸共同住宅	●戸建住宅	●分譲・賃貸共同住宅
敷地面積平均	○297㎡	○384㎡	—	○249㎡	—	○243㎡	—	○242㎡	—	
延床面積平均	○159㎡	○175㎡	○91㎡	○133㎡	○103㎡	○133㎡	○68㎡	○136㎡	○78㎡	
住まい選択理由 (割合の高いもの2つ)	○自然環境：55.0% ○通勤等便利：40.0%	○自然環境：48.2% ○街なみ：41.1%	○通勤等便利：53.3% ○買い物便利：46.7%	○価格が適切：57.1% ○自然環境：54.8%	○通勤等便利：60.0% ○住宅そのもの：36.0%	○自然環境：52.9% ○通勤等便利：48.5%	○通勤等便利：60.0% ○買い物便利：44.0%	○自然環境：63.8% ○—	○通勤等便利：51.9% ○買い物便利：48.1%	
	空家率（空地率） 用途複合化率	●2.3% (2.3%) ●3.6%	●2.1% (2.1%) ●14.5%	— —	●3.1% (0.6%) ●4.3%	— —	●2.4% (1.2%) ●7.0%	— —	●1.9% (5.3%) ●4.8%	— —
サービス施設 (徒歩圏内の有無)	●スーパー：なし ●医療施設：あり	●スーパー：あり ●医療施設：あり	●スーパー：あり ●医療施設：あり	●スーパー：なし ●医療施設：あり	●スーパー：あり ●医療施設：あり	●スーパー：なし ●医療施設：あり	●スーパー：あり ●医療施設：あり	●スーパー：あり ●医療施設：あり	●スーパー：なし ●医療施設：なし	●スーパー：あり ●医療施設：あり
	住まいの満足度	○高齢者への配慮 ○遮音性・断熱性 ○いたみ具合	○高齢者への配慮：34% ○いたみ具合	○高齢者への配慮：30% ○遮音性・断熱性 ○台所の設備・広さ ○間取り・部屋数 ○浴室の設備・広さ	○高齢者への配慮：40% ○いたみ具合 ○遮音性・断熱性	○全般的に不満足度高い	○高齢者への配慮：32% ○遮音性・断熱性 ○いたみ具合	○全般的に不満足度高い	○高齢者への配慮：45% ○遮音性・断熱性：32% ○いたみ具合	○全般的に不満足度高い
住環境の満足度	満足度の高い事項 (満足率80%以上)	○住宅の広さ ○敷地の広さ	○住宅の広さ ○敷地の広さ ○浴室の設備・広さ	—	○住宅の広さ	—	○住宅の広さ ○敷地の広さ ○間取り・部屋数	○住宅の広さ ○敷地の広さ ○間取り・部屋数	—	
	不満度の高い事項 (不満率20%以上)	○日常の買い物：44% ○飲食・娯楽：31%	○飲食・娯楽の利便性 ○子どもの遊び場 ○騒音	○歩行の安全：40% ○子どもの遊び場：33% ○日当たり・風通し ○自然とのふれあい	○飲食・娯楽：38% ○医療・福祉：31% ○通勤・通学：30% ○公共交通機関 ○集会所・図書館 ○日常の買い物 ○子どもの遊び場 ○歩行の安全	○飲食・娯楽：40% ○日当たり・風通し：36% ○火災などに対する安全性 ○騒音 ○歩行の安全 ○子どもの遊び場 ○まちなみ景観	○飲食・娯楽：32% ○歩行の安全：48% ○子供の遊び場：48% ○騒音：36% ○日当たり・風通し：32% ○防犯・治安 ○自然とのふれあい	○歩行時の安全：48% ○子供の遊び場：48% ○騒音：36% ○日当たり・風通し：32% ○防犯・治安 ○自然とのふれあい	○飲食・娯楽：66% ○医療・福祉：55% ○日常の買い物：43% ○公共交通機関：43% ○集会所・図書館：36% ○通勤・通学	○全般的に不満足度高い
不安に感じること (回答率の高いもの4つ)	○住宅の維持管理：64% ○災害時の対応：53% ○治安の悪化：52% ○自分の身の回り：50%	○住宅の維持管理：64% ○人間関係希薄化：54% ○災害時の対応：50% ○自分の身の回り：46%	○災害時の対応：53% ○自分の身の回り：50% ○治安の悪化：52% ○人間の関係希薄化：47% ○生活費不足：47%	○住宅の維持管理：59% ○災害時の対応：57% ○車の運転：52% ○自分の身の回り：42%	○生活費が不足：60% ○災害時の対応：52% ○治安の悪化：40% ○外出が困難：36%	○住宅の維持管理：51% ○人間関係希薄化：45% ○自分の身の回り：44% ○災害時の対応：41%	○子ども教育環境：60% ○災害時の対応：56% ○治安の悪化：56% ○自分の身の回り：47% ○生活費不足：56%	○車の運転：53% ○住宅の維持管理：51% ○自分の身の回り：47% ○災害時の対応：47%	○災害時の対応：63% ○治安の悪化：59% ○自分の身の回り：59% ○生活費不足：44%	
コミュニティ活動	自治会参加率	○75.0%	○66.1%	○53.3%	○92.9%	○64.0%	○91.2%	○36.0%	○93.6%	○51.9%
	不参加理由	○自らの余暇優先：33.0%	○自らの余暇優先：39.3%	○活動情報が伝わらない：46.7%	○参加したいメニューがない：45.2%	○仕事などで時間がない：64.0%	○仕事などで時間がない：64.0%	○活動の情報が伝わらない：64.0%	○自らの余暇優先：36.2%	○仕事などで時間がない：51.9%
課題	高齢化対策への対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コミュニティ活動の活性化	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活利便施設の不足への対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	住宅の老朽化への対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公共交通機関の利便性向上	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住宅も環境の改善	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

奈良県住生活基本計画課題検討委員会 資料



比較項目		西大和ブロック			榛原ブロック		五條ブロック	
住宅地名		明神(2丁目)	片岡台(1・2丁目)	王寺町中心部	天満台西3丁目	榛原駅周辺	田園3丁目	参考:五條市中心部
入居開始年		昭和53年	昭和45年	—	昭和52年	—	昭和52年	—
居住者像	高齢化率 ・全国平均:20.1% ・県平均:19.9%	●17.7%	●27.3%	●19.9%	●17.6%	●22.7%	●10.4%	●31.4%
	世帯主年齢 54歳以下 55~64歳 65歳以上	○23.2% ○14.5% ○69.1%	○14.5% ○39.3% ○35.7%	○51.0% ○15.7% ○25.5%	○22.2% ○25.0% ○50.0%	○50.0% ○21.2% ○19.2%	○48.7% ○17.9% ○20.5%	○100.0% — —
	前住地	○県内:48.2% ○県外:50.0%	○県内:25.4% ○県外:67.2%	○県内:62.8% ○県外:29.4%	○県内:47.3% ○県外:50.0%	○県内:76.9% ○県外:17.3%	○県内:71.8% ○県外:28.2%	○県外:100.0% ○県内:0.0%
	世帯主動務地	○大阪方面:60.6%	○大阪方面:44.4%	○大阪方面:54.3%	○大阪方面:23.6%	○大阪方面:30.0%	○大阪方面:20.6%	○大阪方面:0.0%
	少人数世帯率 ・県平均:42.4%	○25.0%	○36.4%	○41.2%	○52.8%	○40.3%	○28.2%	○75.0%
	親子世帯率 ・県平均:43.4%	○41.1%	○34.6%	○49.1%	○30.6%	○44.2%	○46.2%	○0.0%
	三世帯同居率 ・県平均:7.7%	○14.3%	○10.9%	○3.9%	○2.8%	○3.8%	○12.8%	○25.0%
住宅特性	主な住宅タイプ	●戸建住宅	●戸建住宅	●分譲・賃貸共同住宅 ●戸建住宅	●戸建住宅	●分譲・賃貸共同住宅 ●戸建住宅	●戸建住宅	●賃貸共同住宅
	敷地面積平均	○248㎡	○258㎡	—	○252㎡	—	○239㎡	—
	延床面積平均	○140㎡	○144㎡	○72㎡	○122㎡	○101㎡	○128㎡	—
住まい選択理由 (割合の高いもの2つ)		○自然環境:75.0% ○街なみ:67.9%	○自然環境:58.2% ○買い物便利:45.5%	○通勤等便利:70.6% ○買い物便利:54.9%	○自然環境:72.2% ○価格が適切:66.7%	○通勤等便利:36.5% ○自然環境:30.8%	○自然環境:41.0% ○実家に近い:28.2%	○実家に近い:50.0% ○家族との近居:50.0% ○通勤等便利:50.0%
土地利用	空家率(空地率)	●0.5%(1.4%)	●1.2%(2.8%)	—	●1.0%(3.0%)	—	●0.9%(15.5%)	—
	用途複合化率	●0.5%	●10.5%	—	●5.4%	—	●10.0%	—
サービス施設 (徒歩圏内の有無)		●スーパー:あり ●医療施設:あり	●スーパー:あり ●医療施設:あり	●スーパー:あり ●医療施設:あり	●スーパー:あり ●医療施設:なし	●スーパー:あり ●医療施設:あり	●スーパー:あり ●医療施設:あり	●スーパー:あり ●医療施設:あり
住まいの満足度	不満度の高い事項 (不満率20%以上)	○高齢者への配慮:48% ○遮音性・断熱性 ○いたみ具合 ○台所の設備、広さ ○浴室の設備、広さ ○冷暖房・給湯設備	○高齢者への配慮:46% ○いたみ具合 ○遮音性・断熱性	○全般的に不満度が高い	○高齢者への配慮:44% ○遮音性・断熱性:44% ○いたみ具合:41% ○冷暖房・給湯設備	○全般的に不満度が高い	○全般的に不満度が高い	○いたみ具合:50% ○高齢者への配慮 ○遮音性・断熱性
	満足度の高い事項 (満足率80%以上)	○住宅の広さ ○敷地の広さ ○間取り・部屋数	○住宅の広さ ○敷地の広さ	—	○住宅の広さ ○敷地の広さ	—	—	○間取り・部屋数:100% ○敷地の広さ:100%
住環境の満足度	不満度の高い事項 (不満率20%以上)	○飲食・娯楽:57% ○日常の買い物:43% ○医療・福祉:39% ○通勤・通学:36% ○公共交通機関	—	○騒音:45% ○歩行の安全 ○子どもの遊び場	○飲食・娯楽:69% ○医療・福祉:55% ○通勤・通学:50% ○日常の買い物:38% ○公共交通機関:36% ○集会所・図書館	○飲食・娯楽:44% ○医療・福祉:32%	○全般的に不満度が高い	○全般的に不満度が高い
	満足度の高い事項 (満足率80%以上)	○まちの景観:93% ○自然とのふれあい:91% ○日当たり・風通し ○歩行の安全	○日常の買い物	○日常買い物:94% ○公共交通機関:92% ○通勤・通学等:90%	○騒音 ○自然とのふれあい	○日当・風通し	—	○日当たり・風通し:100% ○自然とのふれあい:100%
不安に感じること (回答率の高いもの4つ)		○車の運転:64% ○人間関係希薄化:59% ○住宅の維持管理:55% ○災害時の対応:46%	○住宅の維持管理:60% ○災害時の対応:60% ○車の運転:40% ○人間関係希薄化:38%	○災害時の対応:59% ○治安の悪化:55% ○生活費不足:49% ○自分の身の回り:41%	○住宅の維持管理:61% ○人間関係希薄化:58% ○車の運転:58% ○生活費不足:50%	○生活費不足:53% ○災害時の対応:51% ○自分の身の回り:46% ○人間関係希薄化:42%	○生活費不足:59% ○人間関係希薄化:53% ○住宅の維持管理:41% ○車の運転:38%	○子どもの教育環境:100% ○治安の悪化:75% ○子育て環境の悪化:75% ○自分の身の回り:75% ○生活費不足:75% ○車の運転:75%
コミュニティ活動	自治会参加率	○87.5%	○85.5%	○68.6%	○72.2%	○53.8%	○79.5%	○50.0%
	不参加理由	○仕事などで時間がない:46.4%	○自らの余暇優先:34.5%	○仕事などで時間が少ない:43.1%	○仕事などで時間が少ない:38.9%	○仕事などで時間が少ない:51.9%	○仕事などで時間がない:56.4%	○仕事などで時間がない:50.0%
課題	高齢化への対応	○	○	○	○	○	○	○
	コミュニティ活動の活性化	○	○	○	○	○	○	○
	生活利便性の不足への対応	○	○	○	○	○	○	○
	住宅の老朽化への対応	○	○	○	○	○	○	○
	公共交通機関の利便性向上	○	○	○	○	○	○	○
住宅も環境の改善	○	○	○	○	○	○	○	